

社会環境報告書

Social & Environmental Report 2009



報告書の概要

■ 対象範囲

リンナイグループ
(リンナイ株式会社、および国内外のグループ会社)

■ 対象期間

2008年度(2008年4月1日～2009年3月31日)の実績を中心に、一部これ以前からの取り組みや直近の活動報告、一部将来の方針や目標・計画などについても掲載しています。

■ 参考としたガイドライン

GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドラインVer3」
環境省「環境報告書ガイドライン(2007年度版)」
環境省「環境会計ガイドライン(2005年度版)」

■ 発行時期

2009年8月

〔 前回：2008年9月
〔 次回発行予定：2010年8月 〕

社会環境報告書Web版
冊子発行後約1～2カ月

■ お問い合わせ先

リンナイ株式会社

■ 社会報告全般に関して

総務部広報室

〒454-0802 愛知県名古屋市中川区福住町2番26号

TEL:052-361-8211(代)

FAX:052-361-8877

■ 環境報告全般に関して

環境部

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田字西八丁

TEL:0587-95-9560

FAX:0587-95-8169

■ 編集方針

当社は、コミュニケーション活動の重要なツールとして、2000年から「環境報告書」を発行しており、2006年からは社会報告を充実させ「環境社会報告書」として、さらに2007年からは「社会環境報告書」として幅広い情報開示を行っています。

「社会環境報告書2009」は、当社が考える社会的責任と相互信頼、そして実際の推進活動をより多くの方々にご理解いただくため、社会面・環境面の取り組みを中心に掲載しています。



社会環境報告書

Social & Environmental Report 2009

「冊子」と「Webサイト」での報告

本報告書は、リンナイグループの社会・環境活動について、要点を絞り込んで報告しています。

掲載されていない具体的な事例、詳細情報、関連情報などはWebサイトの「CSR情報」に掲載しています。

掲載項目については、
報告項目の近くにマークで記載しています。



<http://www.rinnai.co.jp/csr/>

CONTENTS

ごあいさつ	03
リンナイグループの概要	05
企業理念	07
コーポレート・ガバナンス	08
コンプライアンス	09
経営ビジョン	10

特集

〔特集1〕 世界中で安全・安心、省エネ、 高品質な商品を提供し、 人々の暮らしを支えています。	11
〔特集2〕 アメリカ給湯器市場 高効率社会の実現に向けて	13

社会報告

お客様とともに	17
ビジネスパートナーとともに	23
社員とともに	25
株主・投資家とともに	29
社会との共生	31

環境報告

環境理念(方針)	35
環境基本活動	36
環境マネジメントシステム	37
環境行動計画と結果	39
環境会計	41
環境に配慮した商品開発	42
環境に配慮したモノづくり	46
環境活動のあゆみ	50

総合熱エネルギー機器メーカーとして、「環境と

グローバル市場で評価される リンナイの高品質製品

世界的な経済危機に見舞われた昨年度、懸念された震源地アメリカにおける当社の販売は、瞬間式給湯器市場で好調に推移しています。それは年間約870万台の給湯器（ガス・電気）市場を有するアメリカで、政府支援のもと高効率給湯器への転換が後押しされている背景があります。しかもリンナイブランドの瞬間式給湯器は、エネルギー省のEnergy Star対象商品に認定され、今後も好調な推移が期待できそうです。

こうした環境政策は、急速な経済発展を遂げる中国でも推進中です。給湯器の熱効率における独自の国家基準を設定し、2008年から熱効率84%未満の製品を販売禁止にしています。

持続可能な地球の実現に向けた環境問題への取り組みは、世界各国が待ったなしで推進すべき最重要課題です。アメリカの「グリーン・ニューディール」という言葉どおり、直面する経済危機を乗り切るキーワードとしても「環境」が



代表取締役会長

内 藤 進

クローズアップされています。このように各国の環境政策はますます強化の方向にあり、省エネと利便性が両立する当社の高品質製品への認知度は、今後グローバル市場でさらに拡大すると確信しています。

進展めざす「エコジョーズ」の デファクト・スタンダード化

一方、国内業界では、2015年度をめどに世界最高水準の熱効率95%を実現したコンデンシング給湯器「エコジョーズ」を、ガス給湯器のデファクト・スタンダードとするアクションプランがまとめられました。環境規制が進む欧州では、すでにコンデンシング給湯器は一般的となっていますが、各国環境政策の後押しを得て、国内はもとよりグローバル市場においても、「エコジョーズ」のデファクト・スタンダード化を一層進める好機であると考えます。

さらにグローバル市場で期待されるのは、ガスと他の自然エネルギーを組み合わせたハイブリッド製品の開発です。当社は2007年8月、スターリング・エンジン技術を用いたコージェネレーションシステムの開発と製品化に向けてドイツのBBT社、イタリアのMTS社、オランダのENATEC社と提携。ヨーロッパでのフィールドテスト用として輸出を開始しましたが、今後はさらにハイブリッド製品の可能性を追求し、総合熱エネルギー機器メーカーとしての地歩を固めていきます。それが世界における当社の重要な社会環境活動であると考えています。

「品質こそ我らが命」で得た お客様の厚い信頼

このように海外市場におけるリンナイブランドの着実な浸透を実感するにつけ、当社の基本理念である『品質こそ我らが命』を、社員一同愚直なまでに守り続けたこれまで

安全」をテーマに社会環境活動を展開します。

の足跡を思わずにはいられません。

2007年2月の小型ガス湯沸器の事故以来、現在もなお当社は、テレビ・新聞広告等による注意喚起と無償点検に注力しています。経済産業省、横浜地検からは、製品に問題はなく会社側の対応にも落ち度はなかったとの見解が出されましたが、それで良しとせず、継続して改善し対策していくのが当社の基本理念に基づく判断です。

2007年には全社を横断的に管理する社長直轄の「品質保証本部」を新設し、毎月品質に関わるあらゆる事案について話し合う品質会議を開催。品質保証本部内には「事故情報管理室」を設置し、当社製品の問題かどうかに関係なく事故情報を速やかにキャッチできるようにしました。

さらに2009年3月には「お客様部」を新設し、製品点検センターと顧客サービス室を併設。4月から施行された「長期使用製品安全点検制度」にも万全の体制で対応しています。

事故を契機にスタートしたこの一連の取り組みは、当社の製品の安全・安心のさらなる強化につながり、お客様との信頼の絆をより強いものにするきっかけにもなりました。それが社員一同の誇りとなったことは言うまでもありません。

モノづくりの心技が、 社会環境活動の基盤となる

昨年度、当社の中期経営計画「Vシフトプラン」が終了し、そこで掲げた「付加価値経営」は、一定の成果を残したと自負しております。その一つが「環境と安全」をテーマにした一連の製品です。今年発売したエコジョーズの「RVD-Eシリーズ」は、機能はもちろんデザイン性にも優れると大変好評を得ることができました。こうしたヒット商品が誕生したのも、風通しの良い社風の中で育ってきた、社員一人ひとりの豊かな創造力と高い技術力あってのも

のと自負しています。

こうした社員の心技の伝承は、当社の企業文化を未来に伝えるためにも重要な課題です。当社では高齢者の知識・技術・経験を次代に伝えるため、「再雇用制度」を整備。2009年4月時点で108人の再雇用者が各分野で活躍しています。

また、今年度内には「モノづくりセンター」を設立予定です。当社のモノづくりを伝承する活動拠点として、熟練した生産技術者による国内外スタッフの研修や海外拠点への技術サポートの強化に取り組んでいきます。

『品質こそ我が命』が育んだ、モノづくりに対する先取の精神は、世界が直面した未曾有の苦境にも確かな力を発揮しています。それは常に本業と結びついた当社の社会環境活動の基盤であり、大きな強みであることを改めて実感しています。当社はこれからも誇りある社員とともに、「環境と安全」をテーマにしたモノづくりを通して、社会環境活動を推進してまいります。

2009年7月



代表取締役社長

内藤弘康

リンナイグループの概要

私たちの暮らしに欠かせない熱エネルギー。

リンナイグループは、「総合熱エネルギー機器メーカー」のリーディングカンパニーとして、

「環境」「快適」「安全・安心」をテーマに持続的な社会、地球の実現に貢献します。

会社概要

商号 リンナイ株式会社
本社所在地 〒454-0802
愛知県名古屋市中川区福住2-26
電話 052-361-8211(代)

創業 1920年9月1日
設立 1950年9月2日
代表取締役会長 内藤 進
代表取締役社長 内藤 弘康
資本金 64億5,974万円(2009年3月末現在)
熱エネルギー機器の開発・製造・販売

営業品目

厨房機器



- テーブルコンロ
- ビルトインコンロ
- ビルトインレンジ
- 食器洗い乾燥機
- 炊飯器 など

給湯機器



- 給湯器
- ふろがま
- 給湯暖房機
- 湯沸器 など

空調機器



- ファンヒーター
- FF暖房機
- 赤外線ストーブ など

業務用機器



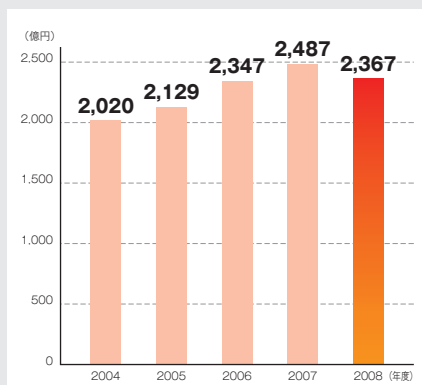
- 業務用焼物器
- 業務用レンジ
- 業務用炊飯器 など

その他

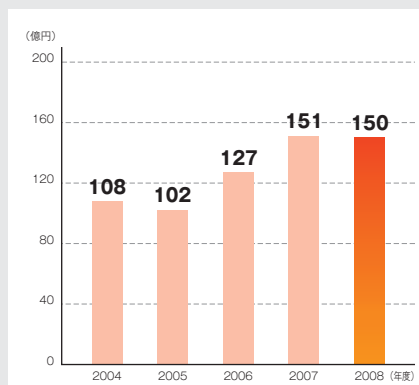


- 衣類乾燥機
- 赤外線バーナー
- 部品 など

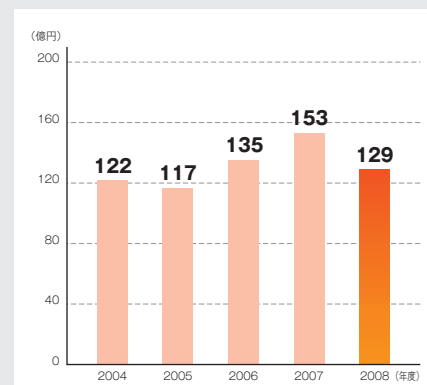
売上高(連結)



営業利益(連結)



経常利益(連結)



リンナイグループの主要拠点

【工場・センター】

大口工場、瀬戸工場、旭工場、愛知工場、部品センター、総合物流センター

【研究所】

技術センター

【支社】

東北、関東、中部、関西、九州

【国内子会社】

製品の製造

- (株)柳澤製作所
- リンナイテクニカ(株)

部品の製造

- アール・ビー・コントロールズ(株)
- リンナイ精機(株)
- アール・ティ・エンジニアリング(株)
- ジャパンセラミックス(株)
- 能登テック(株)
- テクノパーツ(株)
- アール・ビー・テクノ(株)

製品の販売

- リンナイネット(株)
- アール・ジー(株)

その他の事業

- リンナイ企業(株)
- リンナイテック北陸(株)

【海外子会社・関連会社】

製品の販売(持株会社)

- リンナイホールディングス(パシフィック)(株)

製品の販売

- リンナイオーストラリア(株)
- リンナイアメリカ(株)
- 林内香港有限公司
- リンナイカナダホールディングス(株)
- リンナイUK(株)
- 広州林内燃具電器有限公司
- リンナイイタリア(株)
- リンナイSE(株)
- リンナイプラス(株)

製品の製造販売

- リンナイニュージールランド(株)
- 台湾林内工業股份有限公司
- リンナイコリア(株)
- 上海林内有限公司
- リンナイタイ(株)
- リンナイベトナム(株)
- リンナイインドネシア(株)
- 伯陶リンナイ機器(有)
- リンナイマレーシア(株)
- 上海林博熱能技術有限公司
- 広州名海燃具電器有限公司
- RCEコリア(株)

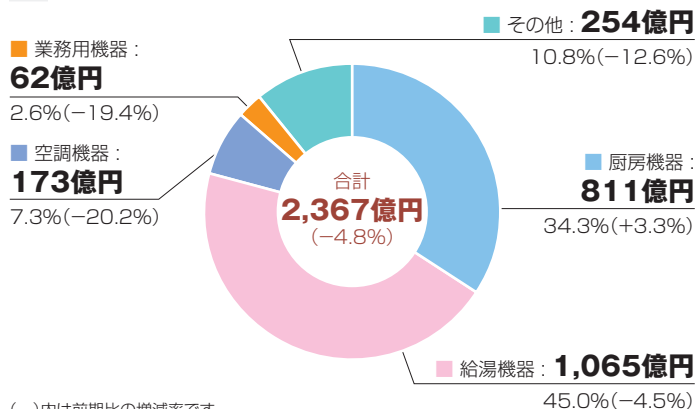
部品の製造販売

- アール・ビー・コリア(株)
- アール・エス・コリア(株)
- 上海燃宝控制器有限公司
- R・K精密(株)
- 三国RK精密(株)

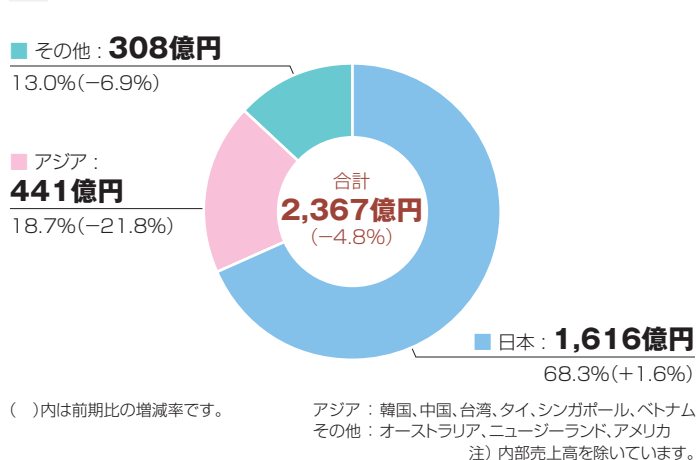
その他の事業

- リンナイサービス(MS)(株)
- リンナイCS(株)

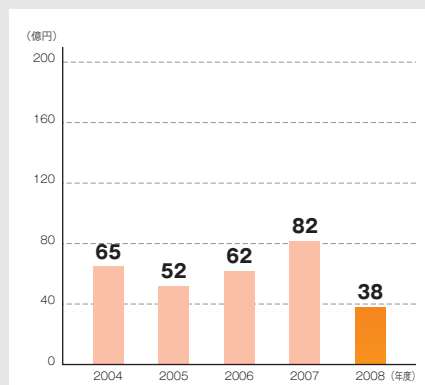
2008年度 部門別売上高構成(連結)



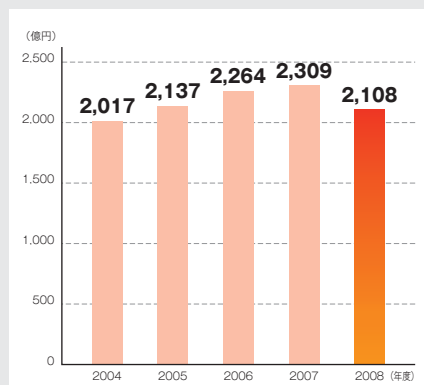
2008年度 地域別売上高構成(連結)



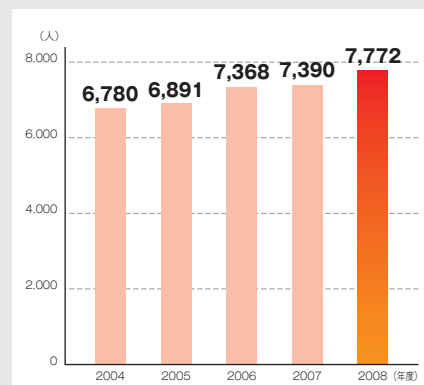
当期純利益(連結)



総資産(連結)



従業員数(連結)



企業理念

当社にとって「社会的責任」とは、私たちが法令をはじめとする社会のルールを遵守し、社会の発展に努めると同時に、高い倫理観を持って責任ある行動をとることであると考えます。

それは、日常の事業活動におけるあらゆる場面で、最も優先されなくてはなりません。

私たちはこの考えを実現するため、社員一人ひとりが日々の行動をリンナイ精神に照らし合わせながら事業活動を進めています。

リンナイ精神を表わすものとしては、長年培われてきた社は『和・氣・眞』をその精神的支柱とし、

さらに『リンナイ憲章』『リンナイ行動規範』をより具体的な行動の指針として制定しています。

■ 社は

和 人間性豊かな人格をつくろう
氣 哲学を持って志を立てよう
眞 基本を学び科学的に考へよう



■ リンナイ企業使命観

リンナイは『熱』を通じて『快適な暮らし』を社会に提供します

■ リンナイ憲章 七つの誓い

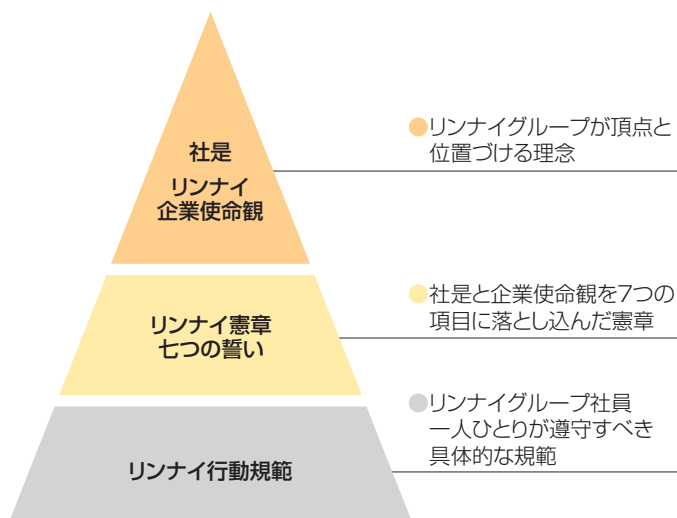
- ① 私達は、「品質こそ我が命」を銘とし、顧客志向に徹します。
- ② 私達は、「安全性」「快適性」「利便性」を追求し、地球環境に配慮した商品を提供します。
- ③ 私達は、「熱」と「くらし」の調和に関するすべてのノウハウを蓄積し、生活文化の向上に努めます。
- ④ 私達は、国内外のリンナイグループの結束を固め、お互いの繁栄に努めます。
- ⑤ 私達は、所属する社会の繁栄を願い、地域社会の一員として信頼を築きます。
- ⑥ 私達は、和・氣・眞で率先実行し、会社の繁栄を通じ、自らの成長に努めます。
- ⑦ 私達は、良識ある社会人として、遵法精神と高い倫理観に基づき行動します。

■ リンナイ行動規範(主要項目)



- | | | | |
|----------|---------------|--------------|---------------|
| 1 総則 | 4 製品・サービスの安全性 | 7 株主・投資家との関係 | 10 安全・健康 |
| 2 適用範囲 | 5 環境保全 | 8 取引先との関係 | 11 人権・人格の尊重 |
| 3 法令等の遵守 | 6 地域社会への貢献 | 9 政治・行政との関係 | 12 会社財産の保護 |
| | | | 13 反社会的勢力への対処 |

■ 企業理念体系図



■ 3つのこだわり

当社は創業以来、3つのこだわりを持って事業の成長・発展を遂げてきました。この思想は、これからも変わることのないリンナイ精神として継承していきます。

熱と暮らし

リンナイは「**熱**」を通じて「**快適な暮らし**」を社会に提供する”ことを企業使命とし、「熱」を扱う高度な技術を強みとし、人々の暮らしを支えます

品質

リンナイは、「**品質こそ我が命**」を銘とし、品質にこだわりを持ち、内製重視の商品造り・モノづくりを行い、お客様に「安全・安心」をお届けします

現地社会への貢献

リンナイは、何よりも現地の人々の生活文化の向上に貢献することを信条とし、現地に密着した販売・サービス活動と現地生産を基本に海外展開を行います

コーポレート・ガバナンス

透明性を高める体制へ

当社では、グループ企業の競争力強化と継続的な企業価値向上の観点から、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営上の重要課題としてとらえています。取締役会や監査役会などの機能強化を図り、様々なステークホルダーの方々に迅速かつ正確な情報開示に努めるとともに、幅広い情報を開示することで透明性の高い経営を目指しています。

経営を監視・監督する監査体制

監査役は4名で構成されており、うち2名が社外監査役です。監査役は、取締役会や重要な会議に出席し、取締役および執行組織の職務状況をはじめ、内部統制システムの整備・運用状況や本社および主要な事業所において業務や財産管理の状況について監査しています。これに加え、外部会計監査人が会計監査を実施し、会計に関する内部統制の適法性について、第三者の立場から検証しています。

内部統制システムに関する基本的な考え方

経営体制を強化し社会的責任を遂行するために、

- (1) 業務の有効性および効率性
- (2) 財務報告の信頼性
- (3) 事業活動に関わる法令等の遵守
- (4) 資産の保全

を内部統制の目的と考え、リスクマネジメント、内部監査などをその手段として内部統制システムを整備しています。

取締役会

取締役会は、当社の経営に関わる重要な事項の意思決定と取締役の職務執行の監督を行っており、取締役7名で構成され、原則毎月1回開催しています。社長以下の取締役の一部が執行役員を兼務しており、取締役会の決議内容を担当部門の管理責任者に伝え業務執行を行っています。また、3カ月単位の全体経営会議および個別経営会議で経営状況の確認と課題事項の共有化を図っています。

役員報酬制度

取締役については、職務の内容に応じた額を固定報酬として支給しています。なお、当社では、2008年6月27日に開催された定時株主総会において役員退職慰労金制度を廃止しています。

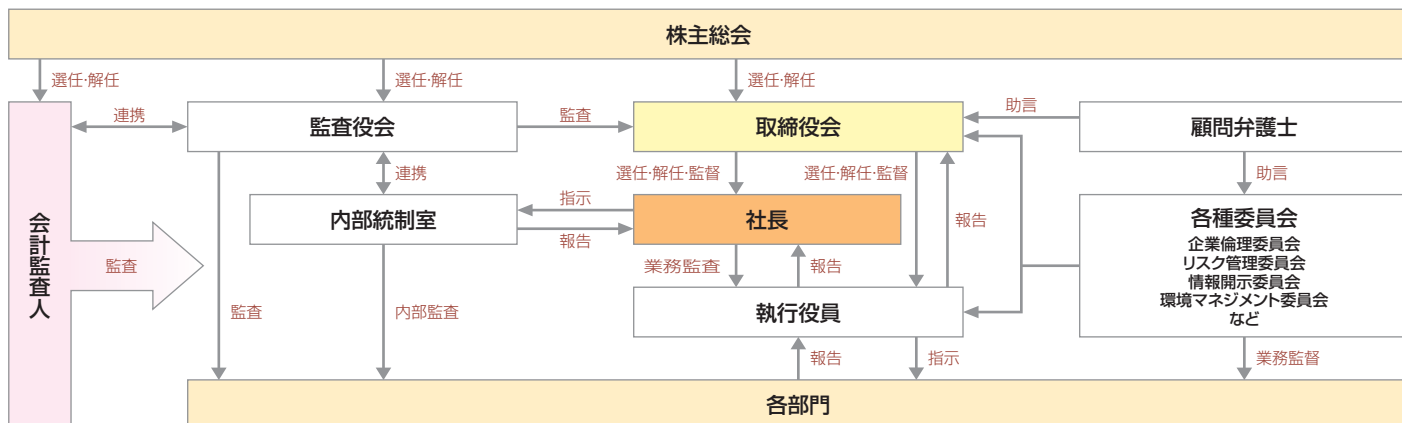
情報の開示

子会社に関する情報を含む社内重要情報の適時開示のための体制および手続などを社内規程に定めています。各情報については情報開示委員会により適時開示の判断を行い、必要に応じて開示しています。

リスクマネジメントの推進

社会の複雑化により企業が多様なリスクにさらされる中、リンナイグループはグローバルな事業展開を推進し、お客様や社会の信頼に応え、安定した事業活動を行うため、リスクマネジメントに取り組んでいます。社長を委員長とする「リスク管理委員会」を定期的開催し、生命・信用・事業活動・財産に影響をおよぼす恐れのあるリスク項目ごとに主管部門を決めて、未然防止の仕組みづくり、危機の早期解決、損害の最小化、再発防止策などを実施し、リスクの低減に努めています。そしてリスク回避のための手法をリンナイグループ全体へ水平展開しています。

● コーポレート・ガバナンス体制



コンプライアンス

公明公正なコンプライアンス活動の推進

リンナイグループは、法令、企業倫理、社内規程に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明公正な事業活動を推進し、お客様、株主様や社員、そして社会に信頼される会社を目指しています。

■ コンプライアンスの意識浸透

当社の企業理念を守るべき内容をまとめた「リンナイ倫理綱領」をリンナイグループ全役員・社員へ展開していくために、2007年7月に「リンナイグループ倫理綱領」として刷新しました。

また、国内の各職場にコンプライアンス活動の中心となる「コンプライアンス委員」を配置し、「リンナイグループ倫理綱領」の教育を年1回、全社員に実施しています。



「リンナイグループ倫理綱領」冊子

■ 信頼される企業として地道な教育を

当社では、社員のコンプライアンス意識を高めるため、経営トップ自らが率先して企業倫理メッセージを発信しています。また毎年、国内グループ各部門の業務に関わりの深い法律に関して、法務部の担当者が法律教育を実施しています。



生産技術部での教育風景



アールティエンジニアリング(株)での教育風景

● 2008年度実績内容

部門	教育内容	受講人数
営業本部	独占禁止法、景品表示法など	292名
管理本部	消費生活用製品安全法、個人情報保護法など	97名
品質保証本部	消費生活用製品安全法、景品表示法など	241名
開発本部		
生産本部	下請法、ハラスメントなど	323名
海外事業本部	仲介貿易、海外の独占禁止法・製造物責任法など	17名

■ 個人情報の保護

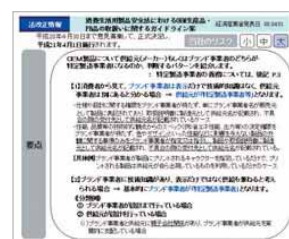
当社では、2005年4月に施行された個人情報保護法に基づき社内規程を整備し、お客様の情報をはじめとする個人情報の適正な管理・運用、その保護に努めています。

具体的には、本社に個人情報保護管理責任者を置き、さらに国内グループ会社を含む各職場に個人情報保護委員を配置し、安全対策の推進および社員に対し個人情報保護の重要性の周知・徹底を図っています。

■ コンプライアンス情報の発信

コンプライアンスに関する情報は、社内イントラネットや社内報「リンナイライフ」に掲載しています。

業務に関わる法改正情報、法律知識のほか、法律のFAQコーナーなどの各種情報を国内グループの全社員に向けて発信しています。



法改正情報



社内報「リンナイライフ」

■ 企業倫理委員会

「リンナイグループ倫理綱領」の実効性を確保するために、企業倫理委員会を3カ月に1回開催し、企業倫理活動の維持・向上に努めています。

委員会は社長を委員長とし、各本部から選出された委員により構成されています。

■ 企業倫理月間

社員一人ひとりのコンプライアンス意識向上のため、毎年10月を「企業倫理月間」として定めています。コンプライアンスに関するポスターや全社員が自署した「企業倫理遵守宣言」を全職場に掲示しました。



企業倫理月間ポスター

■ 企業倫理相談窓口の設置

当社では、社員が日常業務を通して法令や社内ルールへの遵守、倫理、モラルなどの観点から疑問に思うことが生じた場合は、まず上司や部門責任者に相談し、解決することを基本としています。

しかし、それだけでは是正されない場合や上司や部門責任者への報告・相談が困難な内容である場合のために、企業倫理相談窓口を設置しています。

また、2007年7月からは国内グループ会社にも利用枠を広げ、社内報やポスターなどの掲示物を通して相談窓口の周知を図っています。

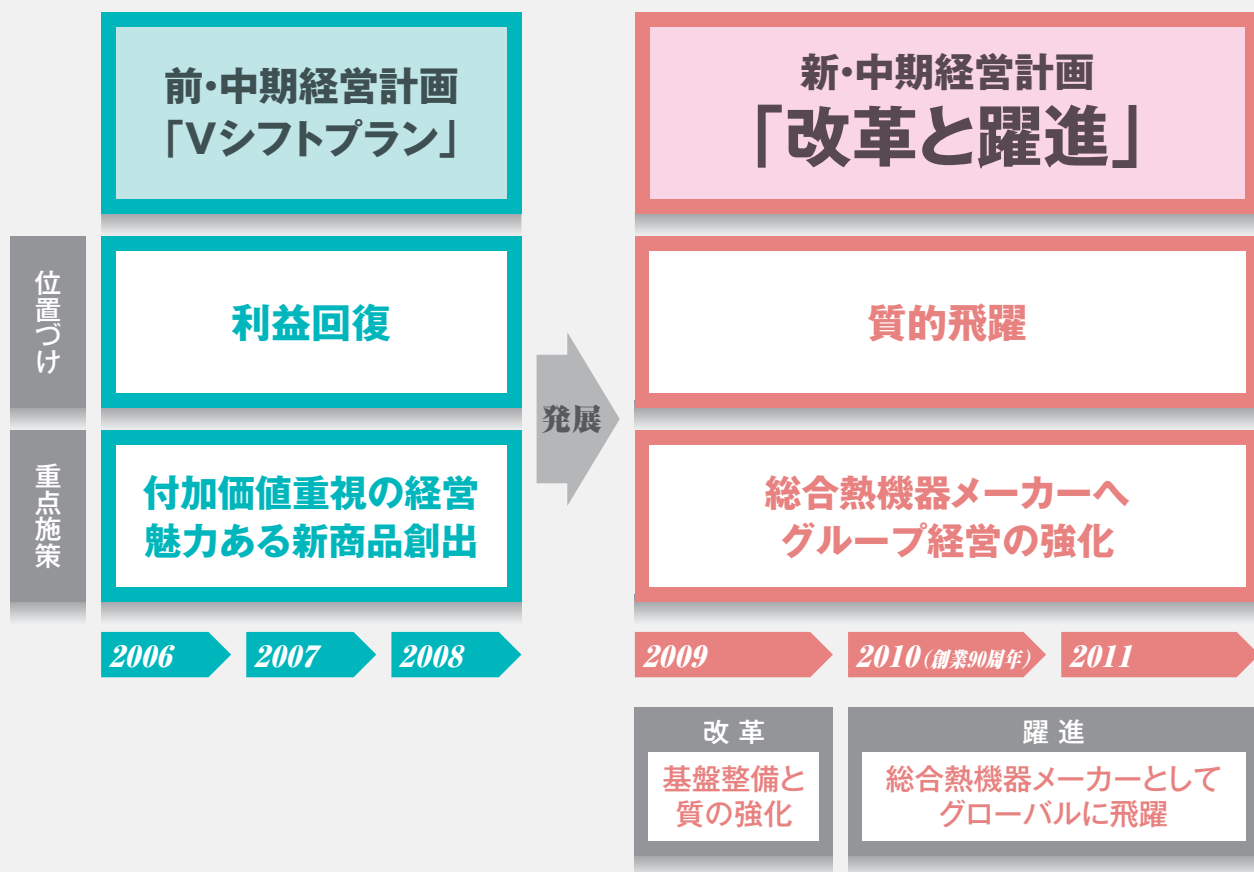
経営ビジョン

リンナイグループは、2006年4月から3カ年中期経営計画「Vシフトプラン」を展開し、付加価値重視の経営や新製品開発強化を重点に進めてきました。その結果、利益回復において一定の成果を得ることができました。

2008年に世界経済が危機的局面を迎える中で、高まる経営リスクへの対処と中長期的な成長を視野に入れ、2009年度を初年度とする3カ年を質的飛躍を実現すべき3カ年と位置づけ、新・中期経営計画「改革と躍進」を策定いたしました。計画では、経営基盤の再整備を行った上で、今後も人々の暮らしを支える熱機器事業を中核としながら環境視点で世界の国々に最適な熱機器を提案する総合熱エネルギー機器メーカーを目指すものであり、「3つの重点方針」を柱に取り組んでいます。

リンナイの中期経営計画「改革と躍進」

「総合熱エネルギー機器メーカーとして 世界の人々の暮らしと地球環境に貢献」



3つの重点方針

1	徹底したムダ取り活動の推進
2	グループ経営の強化
3	総合熱機器メーカーへの体制固め

2011年到達 経営目標

売上高	2,650億円
営業利益	215億円
営業利益率	8%

ヨーロッパ

EUでは、1973年から環境政策とその目標を策定し、先進的な取り組みは世界的な注目を集めています。

当社は、省エネ効果の高い「スターリング・エンジン・コージェネレーションシステム」の製品化に向けて、プロジェクトを進めています。

イタリア



環境政策

- エネルギー政策「20-20-20 strategy」を設定(EU)
- 90年比で温室効果ガス20%削減
- 最終エネルギー消費量に占める再生可能エネルギーの割合を20%に
- エネルギー需要の20%削減



EUROPE

アジア

中国では、政府の省エネ・環境政策として給湯器の熱効率国家基準を設定し、2008年から熱効率84%未満の製品の販売を禁止しています。この政策により、コンデンシング給湯器を含む高機能商品の普及が進むと予想されます。アジアでは、高効率給湯器の拡販、デザイン性の高い高品質なコンロ(グッドデザイン賞受賞p44参照)の展開を進めています。



環境政策

- 給湯器に熱効率等級ラベルを義務化し、3級以上(熱効率84%以上)のみ販売を許可(中国)
- 高効率エネルギー機器へ資材マーク制度を導入(韓国)



ラベリング制度(中国)

中国にて高技術企業を認証

2008年12月25日、上海林内有限公司は、国家から高い技術力を持つ企業に贈られる「高技術(ハイテク)企業」に認定されました。認定された企業は、企業所得税の免除などを受けることができます。



JAPAN

ASIA

OCEANIA

【特集1】

世界中で安全・安心、省エネ、高品質な商品を提供し、人々の暮らしを支えています。

リンナイグループは、世界各地域の人々の『快適な暮らし』を求めて、海外16カ国で製造・販売事業を展開しています。私たちは、『現地の人々の生活文化の向上に貢献する』という考え方を基本方針とし、各国の様々な文化、習慣や伝統に合わせ、地域に密着した製造・販売・サービス活動を基本に事業を展開しています。

また、品質基本理念である「品質こそ我が命」の精神は、海外にも浸透しており、世界各国で高品質なモノづくりを進めています。

私たちは各国の環境・エネルギー事情にあった最適で高品質な商品の提供を目指しています。

オーストラリア

オセアニアでは、地球温暖化が深刻な問題となっています。オーストラリアは、政府から省エネ対象商品への補助金が支給されるなど環境対策が進んでいます。当社では、こうした動向をいち早く把握し、ソーラー業界に参入しています。

オーストラリア



環境政策

- 再生可能エネルギー義務目標(MRET)を推進
- ソーラー(給湯温水システム)購入後、1,000豪ドルの補助金(2009年2月~2012年6月は1,600豪ドルに増額)還元。



アメリカ

アメリカでは、政府が従来の貯湯式から高効率給湯器への転換を推奨しています。

2009年1月より高効率給湯器への補助金制度が始まりました。リンナイアメリカ(株)の瞬間式給湯器はエネルギー省のEnergy Star対象商品に認定されました。省エネ機器に対する国民の関心も高まり、瞬間式給湯器の省エネ性と利便性が急速に認知されつつあります。



環境政策

- エネルギー省が高効率家庭用給湯器にEnergy Starラベルを認定
- 高効率給湯器へ補助金制度(2009年1月～2010年12月)を導入
- 2009年2月より設置・機器購入費の30%を還元(上限1,500ドル)



ガス瞬間式給湯器にてASE「2008 Super Nova Star Award」を受賞

リンナイアメリカ(株)は、ガス瞬間式給湯器において、アメリカの省エネ推進機構であるASE(The Alliance to Save Energy)から「2008 Super Nova Star Award (エネルギー効率大賞)」を受賞しました。(p15参照)



東南アジア

東南アジア諸国では、「エネルギー管理士制度」や省エネ家電の「ラベリング制度」などの展開が進められています。

インドネシアでは、政府が2012年までに家庭用燃料を地球環境に優しいLPG(液化石油ガス)に切り替える計画を推進しています。

リンナイマレーシア(株)では、CO₂排出削減効果のある、ガスを利用した「ソーラー(給湯温水システム)」を発売しました。



AMERICAS

環境政策

- LPG(液化石油ガス)普及プログラム導入(インドネシア)
- 2009年内にエネルギーラベルを導入予定



省エネ認証ラベル
(ASEAN)



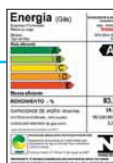
ブラジル

ブラジルでは、PROCEL(国家電気エネルギー節約プログラム)でラベリング制度の普及が進められ、当社の給湯器が対象商品に認定されました。

サンパウロ市では、バスルームが3つ以上ある新規建築には、ソーラー(給湯温水システム)の設置が義務付けられ、国民のクリーンなエネルギーへの関心が高まっています。伯陶リンナイ機器(有)では給湯器やソーラーの積極的な販売を進めています。

環境政策

- 家庭用・業務用機器へのラベリング制度
- 新建築のソーラー(給湯温水システム)設置の義務化



温水プールでは給湯器を連結してお湯を供給しています



給湯部門にて「最優秀賞」と「トップブランド賞」を受賞

伯陶リンナイ機器(有)は、ブラジル設置業者協議会(Sindinstalacao)より、給湯部門において、技術、品質、サービス体制の総評で最優秀賞を受賞、また、「Casa & Mercado (ブラジルの業界誌)」ブランドアンケートの給湯部門で1位を獲得し、「TOP OF THE MIND」を受賞しました。

これらの受賞は、安心してお客様へ提供できる給湯器として、当社給湯器の技術・品質と伯陶リンナイ機器(有)の販売・管理・サービス体制を総合評価されたものです。





高効率給湯器で 家庭の省エネとCO₂削減に貢献!

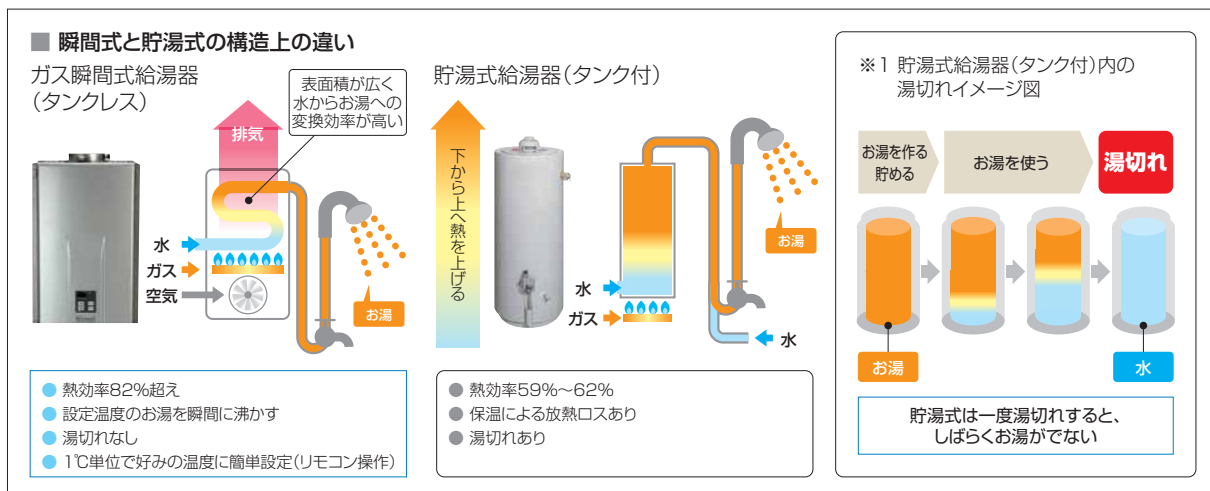
世界の景気失速に対応するため、多くの国で景気浮揚と雇用創出を目標とした大規模な景気対策が打ち出されています。中でもアメリカでは、経済対策と中長期的な課題である地球温暖化対策を両立させた「グリーン・ニューディール」を発動させるなど、世界各国でエネルギー政策が進んでいます。アメリカエネルギー省によると、給湯分野は、アメリカの家庭におけるエネルギー消費割合が3番目に大きく、家庭の省エネとCO₂削減は、当社が貢献できる重要な役割であり、低炭素社会の実現に向けて提案しています。

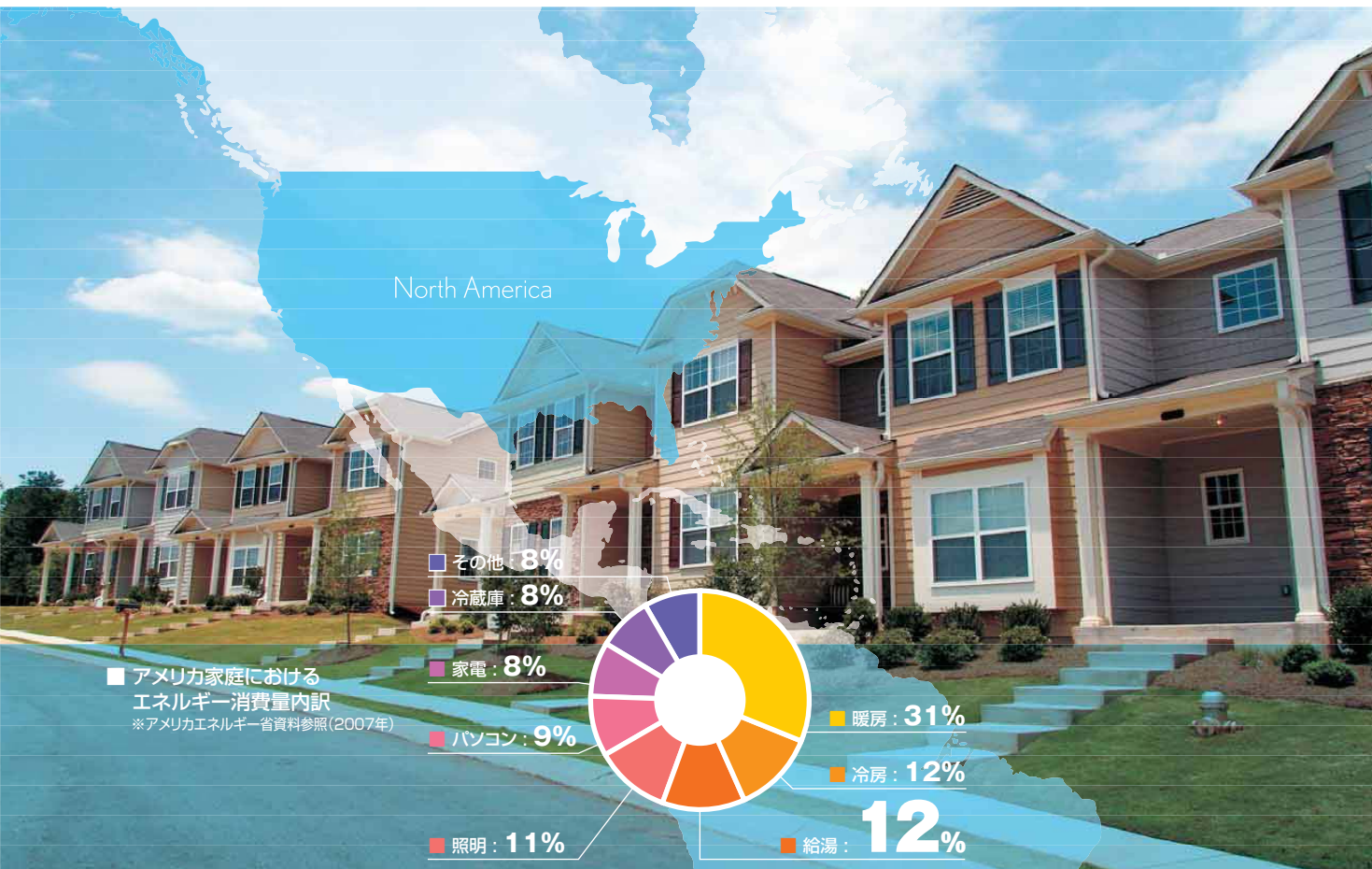
アメリカ給湯器市場 『貯湯式からガス瞬間式給湯器へ』

日本では、ガス瞬間式給湯器(タンクレス)が一般的ですが、アメリカでは大半の家庭で、貯湯式給湯器(タンク付)が使用されています。貯湯式給湯器は、熱効率が59~62%と低く、タンクに適温の湯を貯えておく方式のため、常に放熱ロスが発生しています。全米では2008年に約870万台の貯湯式給湯器が販売され、1億1,600万世帯のうち、現在6,000万世帯で、貯湯式が使用されており、エネルギーの無駄は莫大な量です。アメリカ市場は、省エネ住宅・省エネ設備の普及が大きく見込まれており、ガス瞬間式給湯器の成長が期待されている市場です。

ガス瞬間式給湯器の省エネ・利便性

「ガス瞬間式給湯器」は、必要な時に必要なお湯を沸かし、蛇口やシャワーを止めた時に給湯を止める方式です。そのため貯湯式に対し、熱効率を約25%改善でき、大幅にエネルギーが節約できます。また、貯湯タンクを必要としないため、貯湯式のような『湯切れ』※1の心配もありません。アメリカ人のガス瞬間式給湯器へ切り替える動機は、熱効率改善による経済性、次いで挙げられているのが『湯切れ』がない点だと言われています。日本では、簡単に手に入れられる省エネと利便性が、アメリカではこれまでの常識を変える機器とも言えます。





優れた環境負荷低減効果

仮に、アメリカで50万台分の貯湯式給湯器を、すべて当社のガス瞬間式給湯器に置き換えた場合、年間のCO₂削減効果は以下のようになります。

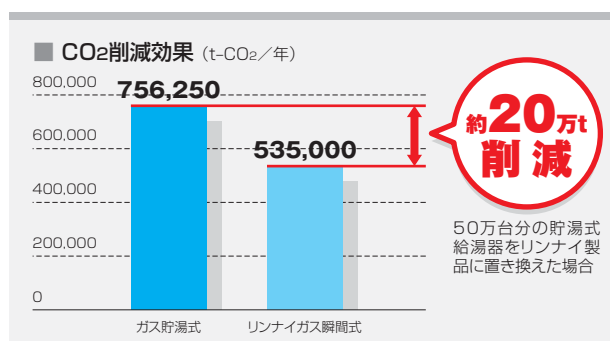
CO₂排出量(使用時)：約20万t-CO₂/年削減
エネルギー消費量：約9,526億kcal(11億kWh)/年削減

これは、アメリカにおける海外からのエネルギー輸入依存を減少させる手助けにもなります。さらにガス瞬間式給湯器はサイズ(体積)が、貯湯式の5分の1の大きさの

ため、省資源や設置施工が容易などの効果があります。アメリカ市場で、ガス瞬間式給湯器が普及すれば、大変大きな省エネ効果が得られます。地球環境に貢献できることを第一に、販売促進だけでなく様々な働きかけを行い、ガス瞬間式給湯器を全米に広げていきます。

■ ガス瞬間式給湯のメリット

- ① エネルギー効率が、約25%改善
- ② 機器サイズが、約5分の1と小型
- ③ 瞬間方式のため、タンクからの放熱ロスなし



※CO₂削減効果はEPA、DOEが推奨する基準により算出しています。
天然ガスによるCO₂排出量基準：0.00011708lb/BTU(EPA)
給湯器全般を対象にしたエネルギー条件：77°F上昇時の64ガロン、熱効率100%時41,045BTU(DOE)

高効率給湯器を普及するために

ガス瞬間式給湯器の普及のため、販売促進活動をはじめ、広範な取り組みを進めています。ガス瞬間式給湯器の省エネ性について、著名人の方々の協力を得て認知度向上活動を行うとともに、税制優遇や補助金の獲得に向けた活動を展開しています。オバマ大統領の就任により、ガス瞬間式給湯器に対して総コストの30%(上限1,500ドル)の補助金を出すことが決定し、今後普及への大きな追い風になると期待しています。一方、ガス瞬間式給湯器の普及のためには、省エネ性だけでなく「安全・安心」への対応も大きな課題です。商品に関するこれらの情報をWebサイトに公開し、消費者や施工業者に適切な情報を提供するとともに、「安全・安心」を第一に施工業者向けのトレーニング講習を全米で行っています。(これまでの研修受講者数は延べ9万人に及ぶ。)こうした活動により、施工業者向け雑誌の人気ランキングで4年連続1位を獲得することができました。(04~07年)



リンナイアメリカ(株)Webサイト



リンナイ社員による出前講習
(設置施工業者向け)



アメリカ施工業者向け雑誌

リンナイアメリカ(株)が『ASEエネルギー効率大賞』を受賞



受賞トロフィー

2008年秋、アメリカ国内で販売しているガス瞬間式給湯器が、アメリカ省エネ推進機構ASE※1より、Super Nova Star Award(エネルギー効率大賞)を受賞しました。(日本ではトヨタ自動車(株)に次いで2番目です)

受賞理由は、①業界内でリーダーシップをとり、貯湯式より効率の良いガス瞬間式給湯器の普及に貢献したこと、②アメリカガス瞬間式給湯器のEnergy Star認定※2、そしてTax credits※3適用への働きかけをしたことが評価されました。

※1 ASE(The Alliance to Save Energy)
1977年設立の省エネルギー化を推進する非営利団体



リンナイ(株)社長
内藤 弘康

国際エネルギー機関
(IEA) 事務局長
田中 伸男 氏

※2 Energy star認定(2009年1月~)

認定基準として、省エネ性能の優れた上位25%の製品が適合されます。日本ではOA機器の認定ですが、アメリカでは、家電製品から建設資材まで、27分野に幅広く認定されています。当社のガス瞬間式給湯器は、アメリカEnergy starに登録されています。



※3 税金還付(Tax credits)による期待

2009年1月より、アメリカ政府は、環境配慮型の給湯器に対して、300ドルの補助金出資を決定し、さらにオバマ政権が設置施工費を含めた総コストの30%還元を引き上げました。当社のガス瞬間式給湯器はその適用を受けています。



リンナイグループは、家庭・オフィスへの環境技術における業界リーダーとして、グローバルな視点で、省エネ・安全・快適な生活の追求をしています。また、アメリカ政府へ産業発展のための働きかけや、高効率エネルギー社会への貢献を目指した取り組みを行っています。



家庭の省エネ、広げたい

執行役員 海外事業本部長 兼
リンナイアメリカ(株)社長 吉田 雄三

アメリカ市場では、2000年よりガス瞬間式給湯器を販売し始めて以来、年々認知度が広がり、2007年度は前年比25%伸長したほど、省エネ意識が強くなってきています。

“Rinnai will heat America.”(リンナイをタンクレスの代名詞にしたい)

をキーワードに、高効率かつ快適性に優れたガス瞬間式給湯器を選ぶお客様を、一人でも多く増やしていきたいと思っています。



社会報告

Social & Environmental Report 2009

お客様とともに
ビジネスパートナーとともに
社員とともに
株主・投資家とともに
社会との共生

お客様とともに

『快適な暮らし』を目指して、地球環境を考えた商品開発に取り組んでいます。

お客様のニーズを積極的に取り入れる『こだわりの商品』を

現在、ライフスタイルとともに住まいも多様化し、キッチン、リビング、バスルームなどへのこだわりも強くなってきています。私たちは、そんなお客様の要望に応えるために、地球環境を考えた省エネ性や高い安全性にこだわりをもって、商品開発に取り組んでいます。

便利で快適、さらにお客様のニーズに合った『DELICIA』シリーズ

DELICIA

【デリシア】



DELICIA GRILLER

【デリシア グリル】



DELICIA Udea

【デリシア ユーディア】



■ 独自性を求めて生まれたヒット商品

ガスコンロの安全装置に関する法改正をきっかけに、“安全性、先進性、清掃性、デザインを追求したビルトインコンロ”というコンセプトを基に作られた「DELICIAシリーズ」。

ユーザー調査の結果から、お客様のニーズが多様化していることが分かり、多機能でデザイン性の高い「DELICIA」をベースに調理性を強化した「DELICIA GRILLER」、誰もが使いやすいユニバーサルデザイン「DELICIA Udea」の3シリーズを開発しました。

■ Siセンサーコンロの普及推進

「ガスコンロに起因する火災撲滅」を目的に、2008年4月より、家庭用ガスコンロ全機種（据置1口タイプを除く）に全口センサーを搭載した、Siセンサーコンロを発売しました。

当社では、Siセンサーコンロに独自の機能を追加し、より快適で安心できるコンロを提案しています。

■ 全国のお客様に体感フェアを実施

私たちは、お客様に「商品の良さを体感していただきたい」という思いから、全国で展示会を実施しています。Siセンサーコンロの安全性や調理性、省エネ性をお客様とのコミュニケーションを通じて、紹介しています。

こだわりのある消費者に リンナイのこだわりも 共感していただきたい

執行役員 営業本部
副本部長 ● 飯島 正幸



消費者のニーズが多様化する中、ヒット商品を生み出すために、極限のところまでこだわりを持ち、商品化しています。「DELICIA」は、高級感あるデザインに多彩な機能を満載し、先進のビルトインコンロとして大ヒットを続けています。



■ 人にも環境にもやさしい世界初! 『重曹洗浄モード』搭載食器洗い乾燥機

私たちは、安全・安心で、環境負荷の少ない商品開発に取り組んでいます。

2008年7月に発売しました「重曹洗浄モード」を搭載したビルトイン食器洗い乾燥機は、自然素材である重曹を洗剤として使用できる商品です。

重曹は、誤って口に入った場合でも安全で、また洗浄後の排水も環境に無害な成分に分解されるという性質をもっています。重曹の特性を活かした技術開発を重ね、低温洗浄により、ランニングコストを低減しCO₂の削減に貢献しています。



重曹は無害なので
お子様の食器にも
安心してご利用できます。

■ エコに関心のある主婦の声をヒントに

インターネットやインタビューによる市場調査を行ったところ、「重曹を入れて食洗機を使っている」という回答がありました。「口にする物だから、安心できる洗剤を使いたい」とそんな声に応えるため、世界で初めて重曹の特長を活かした「重曹洗浄モード」を搭載した食器洗い乾燥機を開発しました。

【 重曹の働き 】

■ 中和作用

酸性物質を中和し、水と二酸化炭素と塩(えん)に変えます。

■ 軟水作用

水に含まれる金属イオンを減らし、水を軟水化させます。

■ 研磨作用

塩よりもやわらかい分子結晶で汚れをやさしく磨き落とします。

■ 消臭・吸湿作用

酸性の悪臭や腐敗臭、体臭などと結びつき、消し去ります。

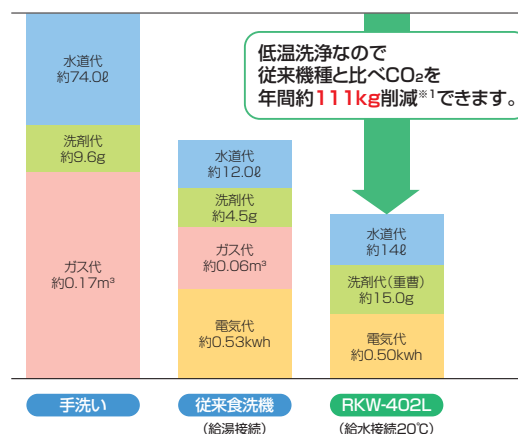
■ 消臭・吸湿作用

酸と中和時に炭酸ガスを発生し、膨らみ粉などに利用されます。

■ 重曹式食器洗い乾燥機の 省エネ効果

専用洗剤を使わずに、重曹の特長を活かした低温洗浄により、より少ないエネルギーで従来の食器洗い乾燥機と同じように汚れをしっかりとします。

● 1回あたりの省エネ効果



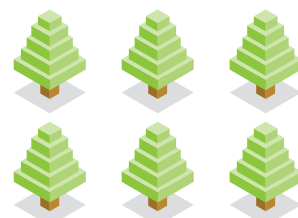
● 1回あたりの食器点数約40点
● 従来食器洗い乾燥機は、RKW-458D-D2「標準コース」で洗った場合。(60℃お湯接続)
● 給水温度は20℃
● 手洗いは、洗い桶に40℃のお湯10ℓためて洗った後、毎分6ℓ・10.7分間すすぎ洗った場合。

低温洗浄なので
従来機種と比べCO₂を
年間約**111kg**削減*1できます。

アカシアの木を約**6本**植えたことと
同じ効果が期待できます*2。

*1 当社従来品との比較。都市ガスのCO₂換算係数2.33、電気のCO₂換算係数0.41(平成19年12月省エネルギーセンター発表資料「地球温暖化対策法温室効果ガス排出量算定省令」)をもとに、1日2回使用した場合の365日で算出。

*2 アカシアの木1本あたりのCO₂吸収量約18kgとして算出。CO₂削減量は従来の食洗機を使用した場合との比較。



有識者の声

クリーン・プラネット・プロジェクト
代表 ● 岩尾明子様

重曹は、生き物が生まれる前から地球そのものの浄化原理として使われてきたものです。この食洗機で行なわれていることが、地球上でも使われていることになります。

自然の理とまったく同じものを真似ることによって、未来型のナチュラル生活を築けると 생각합니다。

お客様とともに

取引先様の声を活かしてガス給湯器の良さをさらに追求し技術力を結集した商品が生まれました。

お風呂やキッチン、床暖房や浴室暖房で利用するお湯は、快適な暮らしに欠かすことのできないものです。
そのお湯をつくる給湯機器として、高効率給湯器エコジョーズがあります。このエコジョーズは省エネ性や設置性を極めた商品であり、普及拡大に努めています。



■ エコジョーズ『RVD-Eシリーズ』新登場

私たちは、販売業者様や住宅メーカー様と一緒に課題の解決に取り組んできました。従来のお湯を沸かす「ふろ給湯器」から、浴室暖房や床暖房も利用できる「給湯暖房機」へ取り替えるお客様が増えており、施工業者様から軽量コンパクト化を求める声がありました。エコジョーズ（給湯暖房機）の軽量化やコンパクト化は、構造上難しく長年の課題でしたが、「今までにない軽くてコンパクトなエコジョーズをつくらう!」を合言葉に難しい課題に取り組みました。



■ 施工業者様とともに課題を解決したい

従来のエコジョーズ（給湯暖房機）は、本体の大きさと重量の関係上、二人で施工していました。
新しいエコジョーズ（給湯暖房機）は、燃焼設計、機能部品の改良を重ねて、45kgから業界最軽量の34kgへと、軽量化に成功しました。
また、高さも75cmから60cmに15cmサイズダウンを達成し、「ふろ給湯器」と同サイズにすることができ、一人での施工が可能になるとともに、設置場所の自由度が広がりました。

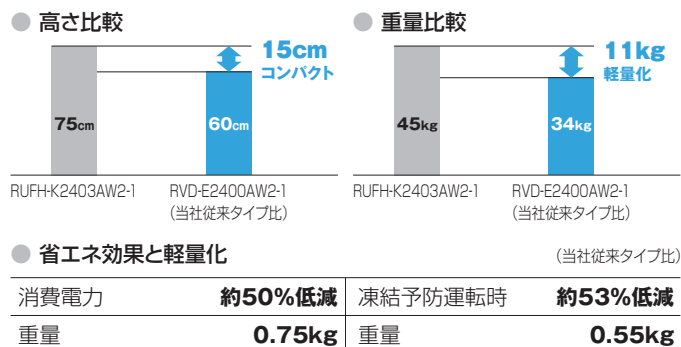


■ 住宅とのデザインの調和

給湯器は、住宅設備として屋外に設置するため、住宅とのデザインの調和を求められます。
住宅メーカー様との対話のなかで、最近では、窓枠や柵、排気フードなど住宅外装部品には、ライトグレー系の色が多く採用されていることが分かりました。それらの声を反映し、様々な外壁の色と調和し、風雨による汚れも目立ちにくく、美しい外観を維持できる「シャンパンメタリック」を採用しました。



■ エコジョーズ「RVD-E」シリーズの軽量化と省エネ効果



ふろポンプ
業界初の重さ0.75kgの高性能DCポンプを採用（従来ACポンプは2.1kg）消費電力も約50%低減。



暖房ポンプ
0.55kgのコンパクトDCポンプを採用（従来ACポンプは2.4kg）耐久性を確保し、暖房能力にマッチングした新型ポンプ。消費電力も約53%低減。

取引先様との対話を大切にしています



営業本部
営業企画部長 ● 中尾 公厚

省エネで快適な生活を実現する商品開発のために、取引先様との対話を大切にしています。対話の中でいただいたご意見を取り入れ、今までにない新しい商品が完成しました。今後もこの関係を大切に、お客様に満足いただける商品を開発していきます。

安全にお使いいただくためにお客様とのコミュニケーションを強化

お客様へ『熱』を通じて『快適な暮らし』を提供することが使命だと考え、常にお客様から寄せられた声を活かし、毎日満足して商品をお使いいただくために、より良いモノづくりやサービスを目指しています。

2009年3月に『お客様部』を新設し、「長期使用製品安全点検制度」に対応した「製品点検センター」とアフターサービスやお問合せなど、お客様から寄せられた声に対応する「顧客サービス室」を併設しました。より一層お客様の声に耳を傾けコミュニケーションを密にしながら、お客様の満足につながるモノづくりやサービスを追求していきます。



経年劣化による事故を防止するための点検制度がスタート

お客様にご愛顧いただいている製品を、より安全に安心してご使用いただくための点検制度を実施しています。

4月1日より、「消費生活用製品安全法」に基づき、『長期使用製品安全点検制度』が、スタートしました。

製品の中には、長期間ご使用いただくことにより、経年劣化が進み、事故に結びついてしまうケースが報告されています。

この制度は、特に重大な危害をおよぼす恐れのあるものを「特定保守製品」と定め、特定保守製品の所有者情報を登録いただいたお客様に点検の時期をお知らせすることにより、事故を未然に防止することを目的に、創設されたものです。

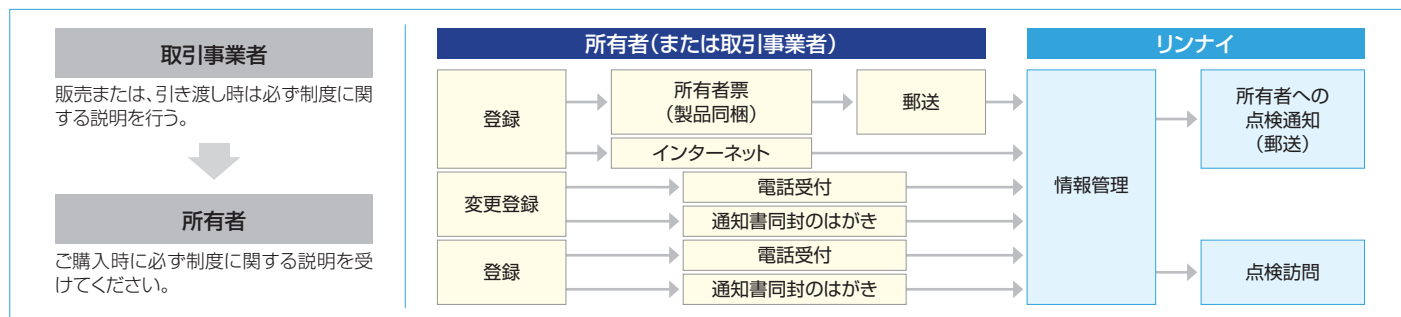
Webで詳しく

対象となるリンナイの製品は次の5品目となります。

- 屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス用・LP用）
- 屋内式ガスバーナー付ふろがま（都市ガス用・LP用）
- ビルトイン式食器洗い乾燥機



● 長期使用製品安全点検制度の流れ



特定保守製品以外の製品についても、安心して安全にご使用いただくために、認定した点検資格者による製品点検を行っています。

● ガスファンヒーター



● ガス衣類乾燥機



● ガスFF暖房機



● ビルトイン式ガスコンロ



● ガスストーブ



● ガス給湯器



● ガス給湯付ふろがま

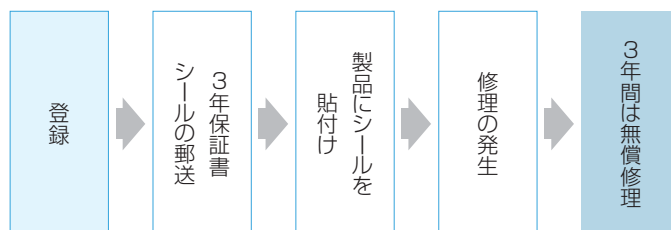


全国網のサービス体制

当社の商品は、お客様の日々の生活に使われるものです。お客様に快適に使用していただけるよう、万が一、製品に不具合が生じた際に、速やかに対応できるよう、全国に事業所を設置、アフターサービスの充実を図っています。

【リンナイ独自の給湯器3年保証】

● サービスの流れ



お客様とともに

■ 安心できるサービスへ

お客様に安心して点検を受けていただけるよう、Webサイトにて詳しい点検料金情報を開示しています。

本社の「製品点検センター」を設置し、全国に約360名の点検員と約730名のサービス員を配置し、アフターサービスの強化に努めています。

[illegible]

取引先様へ「長期使用製品安全点検・表示制度のご案内とお願い」の冊子を5万部配布し、法定点検制度のご理解、ご協力をいただきました。

また、お客様に満足して商品を使っていたくために、サービス会社様を対象に、全国に10カ所の研修センターで新商品の機能や技術的な内容などの研修サービス担当者の方へは、GST取得を推奨し、安心したサービスします。

さらに、サービス技術の向上のために、サービス会社様と「リンナイ技能コンテスト」を開催し、お互いにサービス技術を切磋琢磨することで、サービス担当者のモチベーションアップを促す取り組みを行っています。



■ お客様センターを通じて

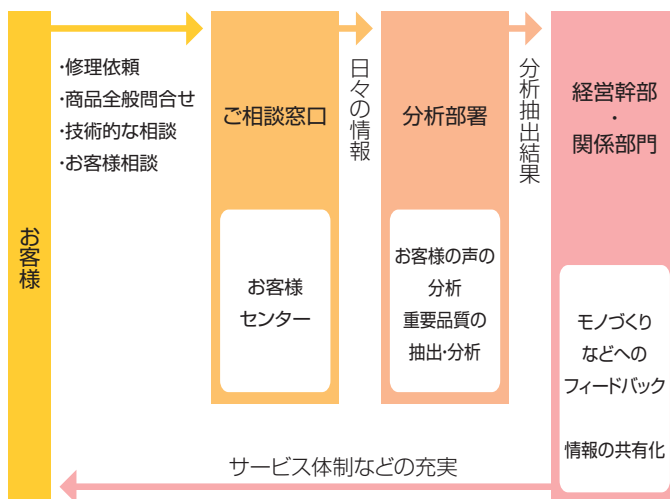
お客様からのお問い合わせやご要望、ご不満などをお聞きする窓口として、「お客様センター」を全国8カ所に設置しています。お客様センターでは、フリーダイヤルやWebサイトを通じて寄せられるお客様のご要望に対応しています。

お客様センターはお客様の声を直接聞くことのできる唯一の部門であり、貴重な声を日々、商品開発や販売・サービスの各部門にフィードバックして、お客様の満足度をさらに高めるために役立っています。

2008年度にお客様センターのフリーダイヤルに、約80万件のお客様の声が寄せられました。



● お客様の声を商品・サービスに活用



■ 交換部品販売専用サイト

リンナイ製品を長期にわたってお使いいただくために、お客様自身で取り換えられる交換部品やお手入れ用品などをWebサイト「R.style(リンナイ・スタイル)」にて販売しています。

このサイトでは、ガスコンロのごとく、グリル焼き網、トッププレートをはじめ、約3,000点以上の消耗部品やお手入れ用品を取り揃えています。

交換部品をインターネットで手軽に注文でき、ピカピカにコンロが生まれ変わると好評を得ています。



品質へのこだわり

私たちは、『品質こそ我が命』を品質基本理念とし、『お客様に満足と安全性の高い商品を提供する』を品質方針としてゼロディフェクト(不良“ゼロ”)に向け、全社を挙げて取り組んでいます。

● 品質基本理念

品質こそ我が命

● 品質方針

「お客様に満足と安全性の高い商品を提供する」

品質・安全性の高い製品を目指して

高品質と安全性を確保するために、重要保安部品は当社およびグループ会社で製造しています。

現場で起こった些細な問題はグループ会社で連携して解決し、重要な問題については、毎月行われる社長および経営者が出席する品質協議会にて報告し、対策について確認しています。



■ 品質関連の会議
(毎月開催し、報告、確認しています)

ガス機器を安全にご使用いただくためにお客様へ伝えたいこと

お客様に安心してガス機器をご使用いただくために、私たちは、万が一、製品に重要な不具合が発生した場合、または発生を予見させる兆候が発覚した場合、新聞各紙やテレビCM、Webサイトを通じて速やかにお客様をはじめ関係者の皆様へ適切な情報開示を行うとともに、点検、修理・部品交換などのサービス体制を整えています。

■ ガス瞬間式湯沸器の無償点検について

Webで詳しく

「開放式小型湯沸器RUS-5RX」(1991年7月から1995年1月に製造)、「開放式小型湯沸器RUS-51BT」(1994年5月から1997年1月に製造)をお使いのお客様に対し、無償で該当製品の点検作業を実施させていただいています。



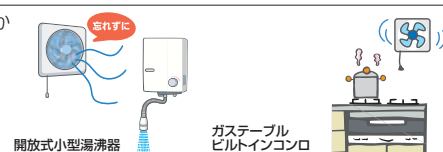
■ 製品安全に関する情報の提供

Webで詳しく

2007年7月に定めた「製品安全自主行動計画」に基づき、製品の安全にかかわる問題やその他の重大な品質問題が確認された場合には、お客様の安全を第一に考え、その情報を速やかに公表し、直ちに問題箇所の点検、修理・部品交換などの処置をとっています。

また、Webサイトに「製品に関する大切なお知らせ」や、ガス機器を安全にご使用いただくためのポイントなどをまとめた「製品を安全に、正しくお使いいただくために」コーナーを設け、積極的に情報を公開しています。

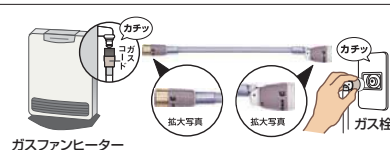
- 使用中は換気扇を回すか窓を開けるなどして、必ず換気を行ってください。



- 暖房使用中は1時間に1～2回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気をしてください。



- ガス機器に接続する場合は、必ず各機器の指定品をお使いください。



- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。



- シャワーなど、お湯を使うときは必ず手でお湯の温度を確認してください。



「生涯の顧客づくり」を目指して

お客様部
部長 ● 熊沢 博昭



お客様と直接お話することができるお客様部では、その声を取りまとめ、要望にお応えすることを通じて、生涯リンナイのファンになっていただきたいと思います。
お客様の要望は、修理・アフターサービス・お問合せなど様々です。お客様の目線で商品を改善し、満足度をあげるとともに、安全にお使いしていただく対応も充実させていきます。

ビジネスパートナーとともに

すべての取引先様との公明正大な取引を基本に、健全なパートナーシップを築いています。

公明正大な資材調達・購買活動

お客様に日々安心してご使用いただく商品を提供するために、取引先様から購入する原材料や部品の品質への配慮が大変重要になります。

当社は、「リンナイグループ基本購買方針」に則り、取引先様に対して「公平・公正」「遵法・企業倫理」を重視し、「環境に配慮したモノづくり」を推進しています。

信頼関係を礎に、品質、価格、納期、技術力などを総合的に判断し、お互いの長期安定的な成長を目指した、資材調達・購買活動に取り組んでいます。

●リンナイグループ基本購買方針



『国内外すべての企業に対して公平な機会を設け、
公正な評価を行い、
当社が求める条件に見合う優れた部材を調達する。』

●購買活動指針

- 1 公明正大な購買活動と最適なコストでの調達
- 2 最適な品質の追求
品質基本理念『品質こそ我が命』
- 3 共存共栄、信頼関係の構築
- 4 最適な納期の確保と安定供給
- 5 地球環境保全
環境スローガン
『私達は英知を結集し、
人と地球にやさしい環境に配慮し行動します。』
- 6 独創的な技術の追求

■ビジネスパートナーとの共存共栄

当社の商品が多くのお客様に親しまれ、ご愛顧いただいているのも、取引先様の支えがあつてのことです。取引先様と長期安定的な関係を築き、相互に成長・発展していくことで、より良い商品をつくることができると考えています。

年初めに、「新春互礼会」や「取引先方針説明会」を開催し、取引先様と信頼関係を築くため、当社の購買方針を説明するなど、様々なコミュニケーション機会をつくっています。

毎年秋の行事として、主要取引先様とともに奈良県信貴山千手院へ商売繁盛祈願の参拝を行っています。

■相互発展を目指して

取引先様との様々な会合の機会を設け、当社の重点施策の他、環境への取り組みやコンプライアンス、企業倫理について説明しています。中でも、環境面でのサプライチェーンマネジメントを重視し、グリーン調達活動を推進しています。

部品や原材料に含まれる化学物質の中には、環境や人の健康、生態系などに悪影響を与えるものもあります。当社では、「E-調達基準書」を策定し、取引先様とともに環境に配慮したモノづくり（環境マネジメントの導入、部品や原材料への環境配慮）に取り組んでいます。また、「化学物質管理ランク指針」※1に基づき、部品や原材料に含有する化学物質の管理を実施しています。法の遵守として新たにEUで施行された「REACH規則」への対応のための調査も開始しています。化学物質管理の課題は多くありますが、「人の健康」「環境負荷を最小にする」を第一とし、取引先様とともに管理レベルの向上を図りながら、相互の発展を目指しています。

※1: RoHS指令6物質を含む19物質の使用禁止および削減などを定めた指針。



E-調達基準書



化学物質管理ランク指針

●取引先様とともに長きに渡り築きあげてきた年間行事



新春互礼会



取引先方針説明会



信貴山 商売繁盛祈願

取引先様と連携したモノづくり向上活動

取引先様と“共存共栄”を図るために、コミュニケーションの場を作り、「推進活動」とともに「レベルアップ活動」も実施しています。当社の品質に関する考え方、モノづくりの基本を理解していただくために、取引先様の人材育成を支援しています。また、取引先様の製造現場へ出向き、モノづくりの無駄や問題点を抽出し、改善策の検討などに協力して取り組んでいます。「レベルアップ活動」では、取引先様と改善の知恵を絞り品質・生産性向上へと繋げています。



取引先品質・現場改善部会

定期開催している「取引先連絡会」では、当社の生産動向をお伝えするとともに、取引先様からの提案をいただき、今後の購買活動に活かしています。



グローバル調達活動

調達量の拡大が著しいアジア地域においても日本国内と変わらぬ品質・調達管理を進めています。

取引先様と一体になったの生産活動を推進

生産本部 購買部
次長 ● 阪野 生次



私たちは大小様々な取引先様から部品を購入しております。その取引先様すべてが我々に対して最高のパフォーマンスを発揮していただけるよう、積極的な支援、適切な情報提供を心掛けていきます。

物流パートナーとの取り組み

お客様へのサービスの向上、分散倉庫の集約と物流業務の改善を目的に2008年4月、主力4工場の商品が集積される「総合物流センター」を開設しました。



「物流方針説明会」を開催

物流業者様に物流改善の方向性と目標値を示した物流方針を理解していただくことを目的に、年度初めに「物流方針説明会」を開催しました。説明会では外部講師による基調講演のほか、物流品質や方針に基づく改善の成果を評価し、優れた物流業者様を表彰しています。



物流パートナーとのコミュニケーションの強化

全国のお客様へ安心して商品をお届けできるよう、定期的に品質協議会を開催し、物流業者様との意思疎通を図るための情報交換や、改善の協議を行っています。また、物流業者様の現場を巡回し、課題の共有や、共同改善を進めています。

スピーディーで安心な物流システム

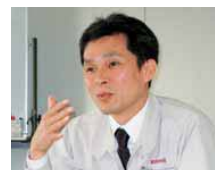
私たちは、お客様からの注文を受けてから商品が届くまでの「リードタイム」短縮を進めています。さらに、お客様のご要望にお応えするために、午前中配達率の向上にも取り組んでいます。

また、素早く確実な物流を実現するために、個品管理が可能な情報システムの導入を進めています。QRコードを使用した個品管理を行うことにより、トレサビリティを可能にしています。



物流効率をあげるため、物流業者様とのパートナーシップを強化

物流統括室
室長 ● 鈴木 隆一



物流業者様の要望を受けて、荷札に物流業者様が使用するバーコードを付加して印字・使用しています。また、商品を仕分けするための各種表示も付けて、パートナーの作業効率向上のための協力を行い、物流全体の効率向上に努めています。

社員とともに

コミュニケーションと人材育成を通じて社員一人ひとりのやりがいを生涯にわたってサポート。

『今日も1日頑張ろう!』と思える職場づくり

当社は、社是に『和 人間性豊かな人格をつくろう』、『氣 哲学を持って志を立てよう』、『眞 基本を学び科学的に考へよう』を掲げています。

社員一人ひとりが、職場で活き活きと仕事に取り組むことが、個人の生活も充実した日々をおくり、企業の成長と個人の成長につながると考えています。

さらに社員一人ひとりがやる気を高め、成長する機会を数多く提供するとともに、健康づくりのサポート、地震や火災に備えたリスク管理体制の充実などにも取り組んでいます。

人材育成の取り組み

“3mの距離”経営トップによるDNAの浸透

当社では、経営者自ら、新入社員研修をはじめすべての各階層別教育において、リンナイ精神について“3mの距離”で、社員に講話します。

(アットホームな雰囲気な大事にし会長・社長が自らの言葉で、経営哲学や会社方針を話します。)

全社員が当社の基本理念を体得し、長年培われた社は『和・氣・眞』の精神の理解を深める事で人材育成につながっています。



また、実務の経験を重ねる中で専門性や職務遂行能力を高める「OJT(On the Job Training)」を基盤とした人材育成を行っています。

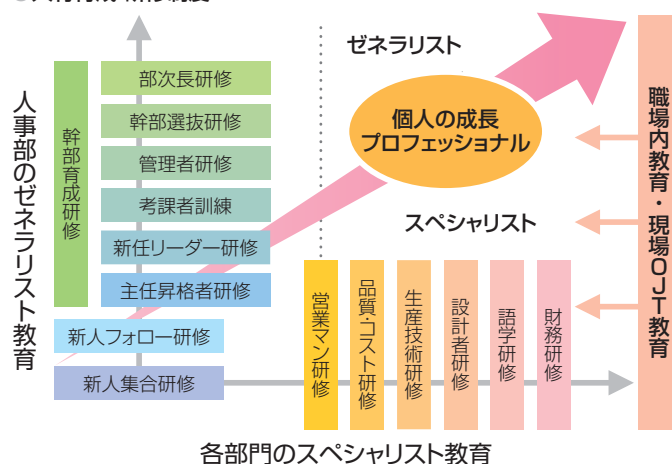
教育制度の取り組み(人材育成)

2006年に「人事改革委員会」を発足し、仕事を通じて個人の能力を発揮できる環境の整備に取り組んできました。

●人材育成の3本柱

「人間力の教育(公正・倫理観・責任感)」
「専門分野の教育(技術力・創造性)」
「個人の成長を支援する教育(自己啓発)」

●人材育成・研修制度



より高い専門的な知識・技能の獲得や教養・人間性を高めるために、社員が自らの意思で参加する語学教育や通信教育・異業種企業との人材交流などの自己啓発活動も活発に行っています。

経験の浅い社員に対しては、海外関連会社へのローテーション研修をはじめ、様々な機会を提供するなかで、技能・技術の向上とモチベーションアップを図っています。

●リンナイらしさを継承するアットホームな教育風景



商品基礎知識研修



新入社員研修



階層別研修



海外視察研修

リンナイのDNAを次世代へ

■ リンナイの技術・技能伝承の師

長年に亘り、築き上げてきた熟練者の持つノウハウは会社の宝です。

当社は、定年者の継続雇用を積極的に推進し、「技術・技能」と「リンナイ精神」を次世代へ伝承することを進めています。

2008年度は、定年者116名のうち、63名を再雇用し、2009年4月時点で、108名の再雇用者が在籍しています。この再雇用制度は、ノウハウなどの伝承のみならず再雇用者の働きがいを高めることにもつながっています。



■ リンナイ「モノづくり」のDNAを世界へ展開

モノづくりの技術・技能を世界のグループ会社に伝えるために、各国から研修生を日本に招き指導し、技能向上と優れた人材の育成に取り組んでいます。

研修では、技術の伝承だけに留まらず、基本理念である『モノづくりの精神』を徹底して教えることで人材育成にも取り組んでいます。

● 2008年度主な取り組み

海外関連会社技術者の日本研修

21名



海外関連会社技術者の日本研修(瀬戸工場)

「女性らしさ」を活かした仕事・職場づくり

■ ライフクリエイターの活躍



ユニバーサルデザイン授業風景(福岡県城浜小学校)

当社では、女性を中心とした、ライフクリエイターが展示会等で活躍しています。お客様に商品を通じて、『快適な暮らし』について関心を持っていただきたい思いから、お客様のニーズに応じて最適な商品を提案しています。

この業務は、当初中部地区で展開しましたが、お客様からご好評をいただき、現在、全国10カ所に体感型施設「ほっとラボ/研修センター」を設けて、20人のライフクリエイターが活躍しています。

このライフクリエイターはイベントでの実演や商品提案、商品を活かしたレシピ紹介などの活動を行っており、『快適な暮らし』をお客様に提案することで、リンナイ商品のファンづくりに貢献しています。

社員の「やりがい」を生涯サポート!

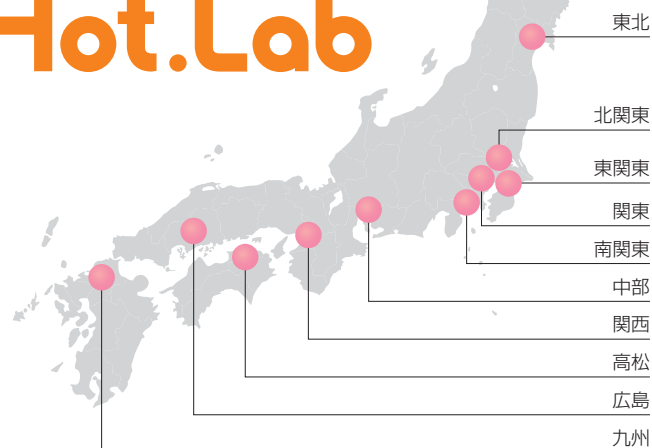
管理本部 人事部
次長 ● 江端 健一



リンナイの良さは「アットホームな雰囲気と真面目な社員」。人事部は、この社風を保つ為にも、社員一人ひとりが、会社でも、私生活でも「やりがい」が持てるように、生涯サポートをテーマに業務推進しています。

Hot.Lab

【ほっとラボ】



社員とともに

家庭と仕事の両立を考えた人事制度

多様な価値観やライフスタイルを持つ社員が、個人の生活と会社生活とを両立させながら、自分らしく生き活きと活躍できるよう生涯にわたって支援できる人事制度の充実に取り組んでいます。

●主な制度

社内公募制度	育児休暇制度
看護休暇制度	介護休暇制度
カムバック制度	ボランティア制度

Webで詳しく



育児休暇 利用者の声

開発本部 ● 山田 友美

二度の育児休暇取得後、それぞれ半年、一年のブランクを置いて復帰し、現在は短時間勤務を利用して短い時間で業務に集中、帰って子供と向き合う時間を増やすように工夫しています。育児、家事に追われめげそうな日もありますが、二度の育児休暇の取得を快諾してくれた会社、復帰後も色々気遣ってくださる上司や同僚達、協力してくれる家族に見守られながら充実した日々を送れる事に、本当に感謝しています。

●2008年度主な制度利用者

育児休暇利用者	31名
介護休暇利用者	1名

社員の生の声

全社員を対象に人事制度や勤労意欲に関するアンケートを実施しました。

また、全社員へ配布する社内報「リンナイライフ」への意見・要望に関するアンケートを実施し、制度改革や社員研修などに活用しています。

メモリアル休暇

「大切な記念日を充実して過ごす」ために誕生日休暇、既婚者には結婚記念日休暇があります。

また、組合員の誕生月にはプレゼントを配布し、袋はエコバックとしても利用できるようになっています。



エコバックでお届け

従業員組合との関係

リンナイ従業員組合と労働協約を締結し、雇用の安定や労働条件、職場の環境改善、教育、職場の活性化などについて、協議しています。

協議にあたっては、互いの立場や考えの違いを十分に尊重しながら、相互の努力によって課題を解決し、リンナイらしいアットホームな労使関係を維持・発展させていくよう努めています。

社員と家族のライフサポート

従業員組合と一体となり、社員とともに、家族が活き活きと過ごすよう、全国的に「和づくり」の親睦活動として、家族を含めた交流の機会づくりを推進しています。



関東フェスティバル

Webで詳しく

●2008年度主な実施

スポーツフェスティバル
ウォーキングフェスティバル
関東フェスティバル
関西フェスティバル
全国プロジェクト(BBQ)

従業員組合からは社員の『心の教育』『生きがい』をテーマに、倫理感、コミュニケーション能力、人生設計、マネープランなど、生涯の生活を支えることを目的とした研修を行っています。



ヒューマンステップアップ研修

Webで詳しく

●2008年度実施研修

ヒューマンステップアップ研修
キャリアアップ研修
ライフデザイン研修
セルフセミナー
新入社員コミュニケーション研修

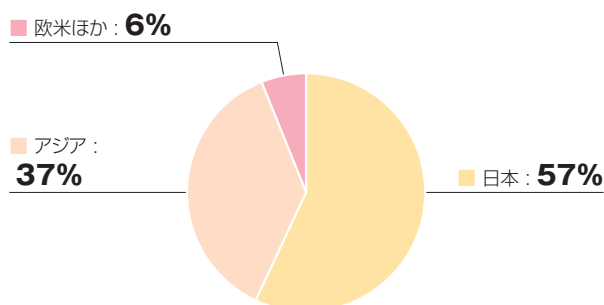
グローバル人材が働きやすい環境へ

リンナイグループは、世界各地の『快適な暮らし』を求めて、海外16カ国に、製造・販売会社(10カ国)、販売会社(7カ国)を展開しています。

各国グループ会社の社長や経営幹部は、国籍に関係なく適任者が登用され、国情にあった最適な人材が経営を推進しています。



地域別社員の構成比



安全で安心して働きやすい職場づくりを目指して

安全な職場づくり

職場の安全は、何よりも優先するものであり従業員の安全を確保する取り組みを行っています。

国内外で大規模な災害が多発するなか、リンナイグループは、災害に強い企業づくりを重要な課題と考え、中小企業庁発行のBCP(事業継続計画)などを参考に復旧対応活動を推進しています。

労働災害の未然防止、危機の未然防止と損害の最小化、再発防止策等を継続的に実施し、現場の安全のレベル向上に努めています。

2008年度は、「リスクアセスメントの推進」、「職場環境の維持と改善」、「健康保持増進対策の推進」、「危機管理活動の推進」、「有資格者育成とスキルアップの推進」、「交通安全活動の推進」などのテーマを掲げ、全社一丸となって推進しました。

●2009年度スローガン

「安全意識の高揚で「危険の芽」を排除し
実現しよう無災職場」



交通安全活動の推進

社員の安全運転意識の向上と、交通事故撲滅を目指し、様々な講習会を実施しています。

社有車を運転するには、所定の教育や運転技能チェックなど、当社独自の認定取得制度を義務付けています。

●2008年度主な取り組み

運転記録証明書申請	2,770名
「社内セーフティ100日間」運動	126名
事務所別無事故無違反運動	58チーム
飲酒運転撲滅宣言	全社員
営業職新入社員運転実技講習	49名

健康づくりのサポート

アットホームで活気ある企業であるために、社員一人ひとりの健康づくりはその基盤となります。

私たちは、全社的な健康づくり活動を推進し、社員の健康の維持・増進に努めています。

「定期健診」「人間ドック」による病気の早期発見、早期治療推奨のほか、2008年度からは、生活習慣病(メタボリック症候群)の予防・改善に着目した「特定検診」「特定保険指導」を実施しました。



●2008年度主な取り組み

職場の環境改善、人材教育、職場の活性化
定期健康診断、人間ドック
がん検診、巡回レディース健診、インフルエンザ予防接種
クラブ活動
オールリンナイボーリング大会

メンタルヘルスケアのサポート

健康管理の面では、身体健康だけでなく、ストレスによる心身障害の予防と早期発見を目的としたメンタル面での健康管理(メンタルヘルスケア)にも努めています。

正しい認識を浸透させるために、部門管理者を対象とした「メンタルヘルスケア」セミナーの実施や、希望者を対象としたアロマセラピーの講習会(アロマセラピーの効能について、デオドラントコロン作り)を実施しました。



デオドラントコロンの手作り体験



メンタルヘルスケアセミナー

●2008年度主な取り組み

メンタルヘルスケア講習会	230名
--------------	------

先輩社員の方々を迎えて〈OB工場見学会〉

長年に亘り、当社で活躍し、現体制を築き上げてきたOB社員の皆様に、各工場を見学して頂く工場見学会を実施しています。

交流親睦会では、経営トップも参加し、「懐かしい昔話」や「武勇伝」などに話が弾み、楽しいひとときを過ごしました。



株主・投資家とともに

公平で適時・適切な情報開示と株主・投資家の皆様とのコミュニケーション活動を展開しています。

IR活動に関する基本的な考え方

株主・投資家の皆様とともに成長していくために、当社に関する重要な情報を正確、公平、迅速に適時開示することを基本方針とし、様々なIR活動を展開しています。

この方針に基づき、業績や財務情報を適切に開示することはもちろん、世界各国での事業展開、環境への取り組みや将来の事業戦略などについて、適時開示するよう努めています。また、株主総会や投資家説明会など、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを重視し、事業活動への理解を深めていただき、市場を通じて適切な企業評価を得られるよう活動しています。

■ タイムリーで公平な情報開示



株主・投資家の皆様からご理解を得るために、様々なIRツールを作成し、情報開示を行っています。プレスリリースによるマスコミを通じた発表や、株主様向けに「事業報告書」の発行などの情報提供に取り組んでいます。また、Webサイト（IRページの情報）において決算短信、株主通信やその他業績に関する発表資料（英文も掲載）などを公開して、公平でタイムリーな情報開示を行っています。問い合わせの多い内容に対しては、Webサイトの「よくある質問」にまとめ、個人投資家の皆様に分かりやすい情報提供を行っています。



ホームページの「IR情報」



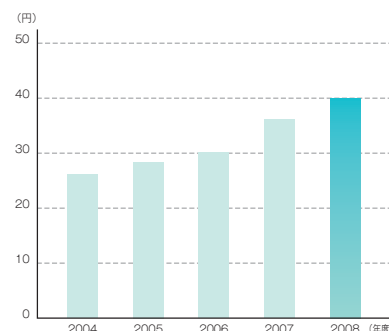
事業報告書

■ 適正な株主への還元を目指して

株主・投資家の皆様に、持続的に安定した利益還元を維持することが経営の重要な政策の一つであると考えています。配当性向、株主資本利益率、財務状況などを総合的に勘案し、株主の皆様の期待にお応えするため、2008年度の年間配当金は、1株あたり4円増配の40円となりました。内部留保金については、長期的な視野に立ち、研究開発投資、設備投資および国内外の売上拡大に伴う投資など企業価値の向上を図るために有効活用していきます。

■ 1株当たりの配当金の推移

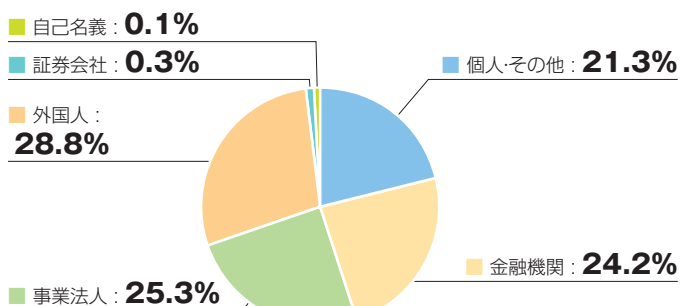
2008年度の配当金は、6年連続増配の1株40円です。



■ 買収防衛策の導入

2008年6月の株主総会において、「当社株券などの大量買付行為への対応策（買収防衛策）」を導入しました。これは、当社の企業価値および株主の皆様の共同の利益が害されるような不適切な買収を防ぎ、株式の大量買付が行われる場合の手続きを明確にし、株主の皆様が適切な判断をするために必要かつ十分な情報と時間を確保するとともに、買付者との交渉の機会を確保することを目的としています。

■ 株主の構成（所有者別株式分布）（2009.3.31現在）



■ 発行可能株式総数 200,000,000株
■ 発行済株式数 54,216,463株（自己株式を含む）
■ 株主数 3,444名

信頼や共感を深めるコミュニケーション活動

グローバルな機関投資家・アナリストとのコミュニケーション

決算説明会をはじめ、経営説明会、工場見学会などを積極的に開催するとともに、機関投資家・アナリストとの個別取材やミーティングなどに対応しています。



個人投資家とのコミュニケーション

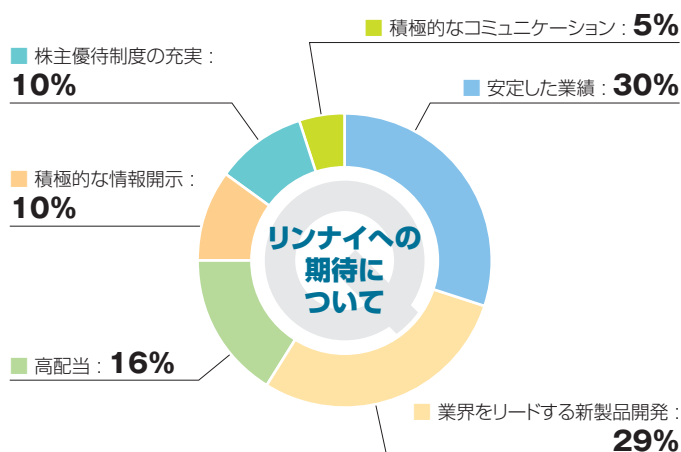
個人投資家の皆様とのコミュニケーションを大切にしており、2008年度は個人投資家向け説明会を東京と名古屋で行い、約1,100名の参加がありました。説明会では業績や経営戦略についての説明や質疑応答はもちろん、新商品を展示して、当社の方針と商品への理解を深めていただく場としています。



個人投資家向けアンケートの実施

個人投資家向け説明会に参加された方へアンケートを実施しています。アンケートの回答結果を客観的に分析し、分析結果を反映した経営方針を展開することで、投資家の皆様の期待に応えるよう企業価値向上に役立てています。

●アンケートの結果(2008年12月実施)



工場見学会の開催

事業活動への理解をより深めていただくために、東邦ガス(株)様と「IR合同説明会」を12月に開催しました。工場見学と組み合わせた説明会では、参加者から「ロボットの活躍、安全性への配慮などに感心した。」「毎日使用している商品の工程が見学でき、ガス機器の良さを改めて感じた。」などの感想をいただきました。



株主総会の運営

より多くの株主の皆様が、株主総会における議案を十分に審議いただき、株主総会に出席いただけるように、株主総会の3週間前に招集通知を発送しています。また、外国人株主比率が総株式の約30%に達していることから、招集通知につきましては、発送日に、英文版Webサイトから閲覧できるようにしています。株主総会での決議結果についても、Webサイトに和英両文で掲載し、迅速かつ公平な情報開示に努めています。

SRI(社会的責任投資)

「FTSE4Good Indexシリーズ」に選定

投資信託などの運用にあたり、企業の財務状況や成長性のほかに、環境・社会・人権などの社会的責任の側面も評価基準に取り入れている「社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)」が注目されています。当社は、広く世界的に知られるSRI指標の1つである「FTSE4Good指数シリーズ」に2004年から連続して6回選定されています。



株券電子化実施後の手続きの申し出先について

2009年1月より上場会社の株式について、株券電子化が実施されました。これにより、上場会社の従来の株券はすべて無効となるため、株式に関する手続きは原則として証券会社を通じて行っていただくことになります。各種手続きについては、Webサイトから確認ください。



社会との共生

地球のため、社会のため、地域のためリンナイらしさを活かした活動を展開しています。

緑をふやそう

■ Home緑化プロジェクト

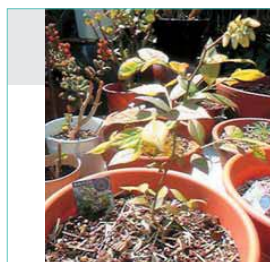
Webで詳しく



地球温暖化防止のため2008年より「Home緑化プロジェクト」の取り組みを進めています。

全国の皆様と一緒にブルーベリーを育てながら、CO₂削減を進める活動で、ブルーベリーの苗木を抽選で3,000名様にプレゼントしています。

(応募期間 2009年2月1日～8月31日)



お客様の声

キャンペーンでいただいたブルーベリーの苗木が小さいながらもかわいいお花をつけました。お花からどんな実がなるのか楽しみです!

■ 「ガス」で森をつくるプロジェクト

ガスで森をつくる。100万台 & 100万本。
BLUE & GREEN 100 PROJECT



ベトナムでの植林風景

給湯・暖房エネルギー消費の削減を目的として、エネルギー利用効率の高いガス給湯器・給湯暖房機「エコジョーズ」の普及を推進しています。

緑豊かな地球を次世代に引き継ぐため、ガス給湯・暖房機100万台の普及と100万本の植樹活動「ブルー&グリーンプロジェクト※1」に取り組んでいます。

BL-bs認定品※2のガス給湯・暖房機の普及状況に応じ、財団法人国際緑化推進センターが運営する熱帯林造成基金事業の森林造成事業に資金提供し、2006年よりベトナムにおいて植樹を行っています。

※1 「ブルー&グリーンプロジェクト」は(財)ベタリーピングが主催するプロジェクトで当社は参加企業です。

※2 (財)ベタリーピングが認定した優良住宅部品の中でも、環境保全などへの対応に優れた特長をもつ商品と認定されたものです。

『モノづくり』を通じた学生とのコミュニケーション

■ 科学技術の振興

将来の科学技術の振興として、研究に必要な技術の提供や大学での講義を行っています。



「ガス」燃料を使って走る電気自動車開発

● 2008年度振興支援内容

高負荷ガス燃料装置の提供

「デザインイノベーション会
連携講座」の発足

■ インターンシップ研修

現役大学生、高校生のキャリア形成支援を目的とした、ビジネスの現場体験機会を提供するインターンシップ研修を実施しています。

今年度は、37名を受け入れ、職場体験実習を行いました。



社会と調和した環境意識を深めて

私たちは、「地球環境に貢献する総合熱エネルギー機器メーカー」として、社員一人ひとりの環境に関する知識と意識向上を大切にしています。

新入社員教育や階層別教育には必ず環境に関わるテーマを取り入れるほか、定期的に環境社内報を発行しています。国内外の環境動向(トピックス)、各事業所の取り組み、啓発活動などを取り上げ、環境全般に関する意識の向上に努めています。



環境社内報



アイドリングストップ運動

環境美化など活動への参加

国内のリンナイグループ各事業所は、事務所周辺や通勤路などの清掃をはじめ、地域主催の環境美化活動やチャリティーバザーなどに参加し、地域に根ざした活動を行っています。

●大口町アダプトプログラム(里親)



堀尾跡公園の清掃



矢戸川の清掃

家族(子供達)を招待し見学会

社員の家族(特にお子様)に、仕事への理解を深めてもらうために、実際に働いている姿や商品ができあがるまでの工程を見学していただく職場見学会を実施しました。

社員が仕事にやりがいを感じながら、家庭においても充実した生活を送るための一助になると考えています。



地域社会とのコミュニケーション

各事業所では、近隣住民との定期的な会合や自治体の開催する各種イベントへの参加を通じて、地域住民の方々とのコミュニケーションに取り組んでいます。

地域の小学生の工場見学を受け入れ、社会学習の場としても活用していただいています。



様々な文化伝承への支援

「名古屋国際音楽コンクール」や「名古屋少年少女発明クラブ」への協賛など、芸術文化における国際交流を促進する活動や、約390年以上の歴史をもつ「名古屋城本丸御殿復元事業」への寄付など、伝統文化の継承に向けた活動への支援を行っています。



Webで詳しく

海外での支援活動

災害支援活動

リンナイオーストラリア(株)では、オーストラリア南東部ビクトリア州にて発生したブッシュ・ファイヤー(自然発火の山火事)の被災地へ、給湯器の提供および20,000豪ドルを寄付しました。

「ハビタット」の活動へ参加

リンナイ코리아(株)では、貧困者の住居問題解決と社会への“健全性”回復を目的に1994年より韓国ハビタットを通じて、ボイラーを提供しています。

2008年は96台のボイラーを提供しました。

2009年は150台のテーブルコンロを寄贈する予定です。



社会との共生

展示会

最新の技術を駆使した環境に優しい省エネ商品を展示し、当社の環境への取り組みを紹介しています。お客様との会話を通じて、様々なご意見・ご要望をいただきながら、「地球環境に貢献する総合熱エネルギー機器メーカー」を目指して取り組んでいます。

国内展示会

■ メッセナゴヤ2008

2008年9月、名古屋国際展示場で開催された“環境チャレンジの祭典”「メッセナゴヤ2008」に出展し、ビルトインコンロ (DELICIA) やエコジョーズなど最新の環境技術と環境経営実現に向けた取り組みを紹介しました。



■ フロンティア21エレクトロニクスショー2008

2008年11月、名古屋市中企業振興会館 (吹上ホール) で開催された「フロンティア21 エレクトロニクス2008」に出展し、エレクトロニクスによる安全・安心・環境に対応した商品やその機能などの紹介をしました。



■ HCJ2009 (厨房設備機器展)

2009年2月に東京ビッグサイトで開催された「HCJ2009 (厨房設備機器展)」に出展し、炊飯器・グリラー・オーブンなどのガス厨房機器を紹介しました。



海外展示会

■ 国際建築機器・資材見本市 (アメリカ)

2009年1月、アメリカのフロリダ州オーランドで開催されたアメリカ最大の「国際建築機器・資材見本市」に出展し、高効率給湯器・FF暖房機などの製品を展示し、大きな注目を集めました。(リンナイアメリカ (株))



■ 理想の住まい展 (マレーシア)

2009年4月、マレーシアのクアランブールで開催された「理想の住まい展」に出展しました。新製品のビルトインコンロやレンジフードの他、ソーラー (給湯温水システム) を展示し、新しいライフスタイルとして好評でした。(リンナイマレーシア (株))

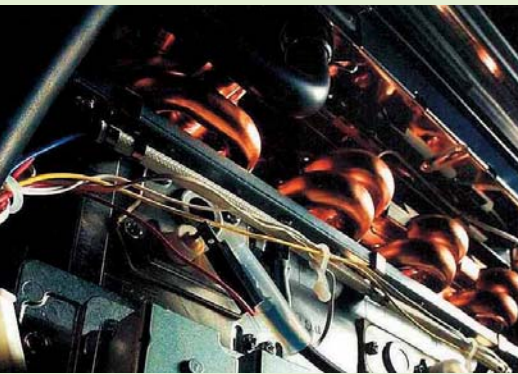


■ 新製品発表会 (台湾)

2009年6月、台湾の3都市 (台北市、台中市、高雄市) で、新製品発表会を開催しました。デザイン性を重視した新製品のビルトインコンロやレンジフード、環境に配慮した給湯器を展示し、注目を集めました。(台湾林内工業股份有限公司)



高雄新製品発表会



環境報告

Social & Environmental Report 2009



環境理念(方針)
環境基本活動
環境マネジメントシステム
環境行動計画と結果
環境会計
環境に配慮した商品開発
環境に配慮したモノづくり

環境理念(方針)

地球環境が危機的状況にある今、社会の変革に向けた企業のリーダーシップが求められています。リンナイグループは、環境保全と利益創出の同時実現により、社会に存続を望まれる事業活動を展開していくため、「環境に配慮した商品開発」「環境に配慮したモノづくり」など、環境活動の強化と拡大を図っています。

環境基本理念

リンナイは、人と地球にやさしい優れた技術の追求と、人間性豊かな製品の開発・生産活動・販売・サービスなどを通じて、地球規模での環境保全に取り組み、社会に貢献することを基本理念とする。

環境スローガン

『 私達は英知を結集し、人と地球にやさしい環境に配慮し、行動します。』

環境基本方針

1 地球への環境負荷の少ない環境配慮型商品の提供

省資源・省エネ・リサイクル性などを追求した商品開発と環境に配慮した資材の調達(E-プロキュアメント)で、地球環境に貢献する環境負荷の少ない環境配慮型商品(E-プロダクト)を提供します。

2 自然との共生を目指した環境調和型工場・オフィス

省エネ・廃棄物や有害化学物質の削減などに努め、自然と共生する環境調和型工場(E-ファクトリー)・オフィス(E-オフィス)を目指します。

3 販売・サービス活動などにおける環境への配慮

販売(E-マーケティング)・サービス(E-サービス)およびその他の事業活動全般において、環境負荷の低減活動に努めます。

4 環境マネジメントシステムの構築と継続的改善

環境マネジメントシステムを構築し、適切な環境目的および目標の設定と管理による継続的な改善を図ります。

5 法令などの規制の遵守と自主基準による取り組み

法律・条令・協定などの遵守はもとより、社会的要求に応える自主基準を定めてこれを守り、つねに管理レベルの向上を図ります。

6 全従業員の環境意識を高め社会と協調した貢献活動

環境教育などを通じて全従業員の環境意識を高めるとともに、地域社会などと一体となった環境活動を展開し、社会に貢献します。(E-マインド)

7 従業員および社会への情報公開

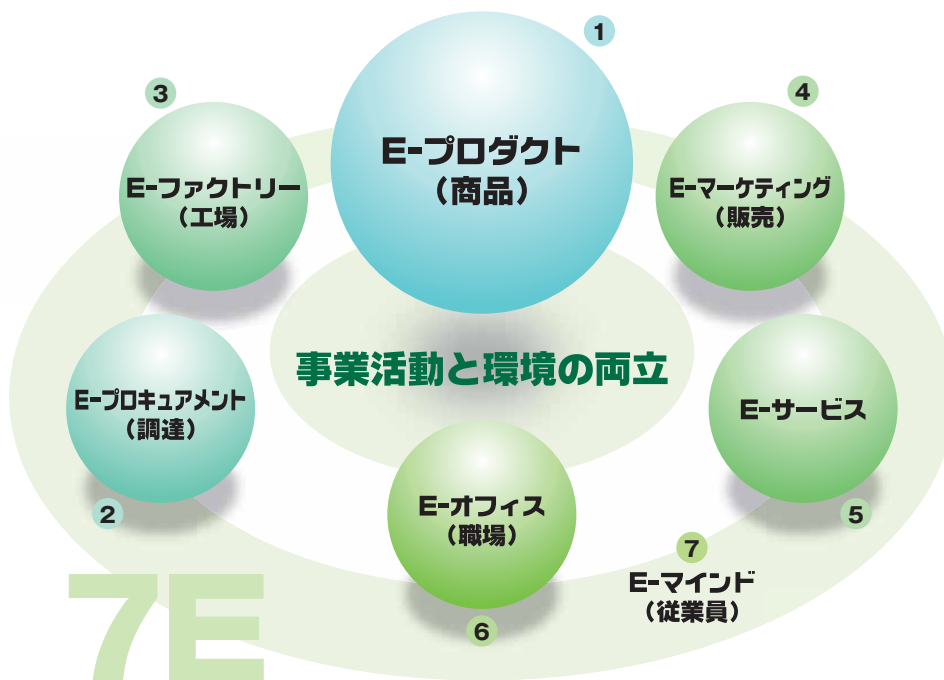
環境に関する方針などを社内外に開示し、従業員および社会とのコミュニケーションに努めます。

環境基本活動

『7E』戦略活動

■ 全事業業域で全員参加の環境活動を推進

環境意識の高い従業員が環境調和型工場で環境配慮型商品を作り、自信を持ってお客様に商品を提供することを目標としています。原材料・部品などの「調達」、モノづくりを行う「工場」、生産する「商品」、商品の「販売」、お客様がご使用になる商品の「サービス」、事業活動を行う「オフィス」、活動の基本となる「従業員」、モノづくり企業として商品のライフサイクルすべてのプロセス（開発、調達、生産、販売、使用、廃棄）で、きめ細かな『7E』戦略活動を進めています。

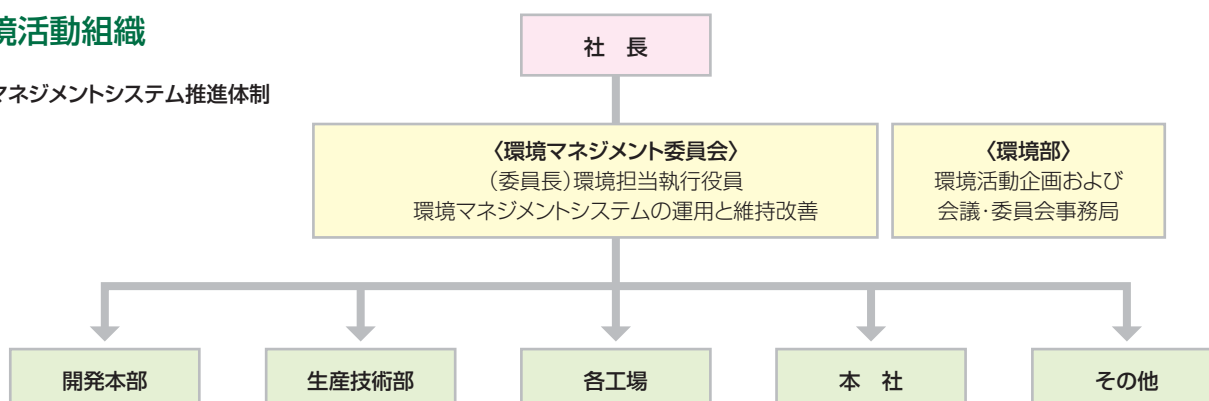


● 環境活動

7E		主な推進事項
1	E-プロダクト(商品)	環境配慮型商品の開発
2	E-プロキュアメント(調達)	グリーン調達の推進
3	E-ファクトリー(工場)	環境負荷低減活動の推進
4	E-マーケティング(販売)	環境配慮型商品の販売、お客様の環境意識の啓発
5	E-サービス	環境に配慮したサービス活動の推進
6	E-オフィス(職場)	環境に配慮したオフィス活動の推進
7	E-マインド(従業員)	環境教育／啓発活動の推進、環境情報の発信、社会貢献活動

■ 環境活動組織

● 環境マネジメントシステム推進体制



環境マネジメントシステム

国際規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し運用しています。
マネジメントシステムを有効に活用し、持続的な発展が可能な社会の構築に向け、
環境に配慮した「モノづくり」を目指した環境経営の推進と環境パフォーマンス向上活動を行っています。

リンナイグループで環境マネジメントシステムを運用しています。

リンナイグループ全体での国際規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステムの運用を目標に、環境マネジメントシステムの認証取得活動を継続して進めています。2008年度はリンナイ本社と海外グループ会社の上海林内有限公司でISO14001の認証を取得しました。現在、国内の未取得部門(営業支社など)での認証取得活動などを展開しています。

2008年度 ISO14001 認証取得



リンナイ(株)本社



上海林内有限公司

● 環境マネジメントシステム国際規格「ISO14001」認証取得状況

事業所名		認証取得年月	事業所名		認証取得年月
リンナイ	開発本部	1997年 10月	国内グループ会社	リンナイテクニカ(株)	2003年 12月
	生産技術部	1997年 10月		(株)柳澤製作所	2004年 6月
	大口工場	1997年 10月		リンナイ精機(株)	2005年 12月
	瀬戸工場	2000年 12月		ジャパンセラミックス(株)	2006年 1月
	環境部	2000年 12月		アール・ティ・エンジニアリング(株)	2006年 3月
	愛知工場	2003年 11月		アール・ビー・コントロールズ(株)	2006年 3月
	旭工場	2003年 11月		能登テック(株)	2007年 1月
	品質保証本部	2003年 11月	海外グループ会社	リンナイコリア(株)	1997年 7月
	本社	2008年 12月		上海林内有限公司	2008年 12月

環境マネジメント活動

■ 環境マネジメント委員会

環境マネジメント委員会を通じて基本方針や中長期計画を周知し、年度計画に従い、具体的な活動へと展開しています。また、必要に応じて計画の見直しを行い、目標の達成に努めています。



環境マネジメント委員会



環境定例会(本社)

■ 環境リスクマネジメント



当社では、環境に関する法律、条例や地域との協定などを遵守することを基本としています。さらに、環境リスクをより低減するために、法律や条例よりも厳しい自主基準(排水、大気排出など)を定めて活動しています。

環境監査

■ 外部監査

ISO14001認証取得部門では、環境マネジメントシステムが適切に運用されているかに関し、外部の審査登録機関による定期監査(1回/年)を受けています。2008年度の定期監査では重大な指摘事項はありませんでした。



外部監査

■ 内部監査

監査チームは、監査を受ける部門に直接関係のない全社から選ばれた中立的な内部監査員で編成し、被監査部門の環境マネジメントシステムへの適合性および活動の内容などを監査します。

2008年度の内部監査では重大な指摘事項はありませんでした。また、軽微な指摘・観察事項については速やかに改善しました。なお、内部監査員は被監査部門の現場を巡回し詳細に観察するため、取り組み内容の相互理解と課題の共有が可能になります。



内部監査

内部監査員教育・養成教育

内部監査員教育

内部監査員は、環境マネジメントシステムを継続的に改善していくうえで重要な役割を担っています。内部監査員のレベルアップを目的に、法律や条例、社内規程類、内部監査の指摘事項と改善措置、環境動向などについて、社内講師による教育を定期的に行っています。



内部監査員教育

内部監査員の養成教育

内部監査員の充実に目的に、外部講師による内部監査員養成教育を毎年実施しています。教育終了者は内部監査に随行し、適切であると認められた者のみを内部監査員として認定しています。



内部監査員の養成教育

内部主任監査員教育

監査知識・技能が所定のレベル以上の人を内部主任監査員として認定しています。監査技能の向上のために、外部講師による内部主任監査員教育を定期的に行っています。



内部主任監査員教育

● 内部監査員の推移

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
内部監査員	44	47	51	48	51
内部主任監査員	13	15	17	15	14

内部監査員は現在51名、うち主任監査員は14名です。

グループ会社(活動紹介)



外部審査
ジャパンセラミックス(株)



外部審査
アール・ティ・エンジニアリング(株)



環境安全巡回
能登テック(株)



内部監査
アールビー・コントロールズ(株)



内部監査
リンナイコリア(株)



環境安全巡回
(株)柳澤製作所

上海林内有限公司

2008年12月 ISO14001 認証取得



審査



環境定例会

ビジネスパートナーと取り組む環境マネジメントシステムづくり

環境マネジメントシステム体制づくりの支援

環境に配慮したモノづくりを、取引先様と一体となって進めていくため、取引先様の環境マネジメントシステム(ISO14001、エコアクション21、KESなど)の認証取得支援活動を推進しています。

化学物質管理体制づくりの支援

国内外で化学物質に対する規制強化が検討・実施されており、商品に含有する化学物質の把握・管理が益々重要となっています。含有する化学物質を取引先様とともに把握・管理できる体制(仕組み)の強化に向けた活動を推進しています。

2008年度環境行動計画と結果

2008年度主要取り組み(環境マネジメント、7E：E-プロダクト、E-プロキュアメント、E-ファクトリー、E-マーケティング、E-サービス、E-オフィス、E-マインド)の目標と実績、およびその評価結果について報告します。

取り組み項目	2008年度目標	2008年度結果	評価	関連頁
環境マネジメントシステム	本社部門のISO14001認証取得	本社部門がISO14001認証取得	○	P37

E-プロダクト(商品)

地球温暖化防止	●省エネ法目標基準値以上の商品の継続開発 (コンデンス給湯暖房専用機、給湯暖房機、など) ●待機時消費電力削減商品の継続開発 (給湯器、コンデンス給湯暖房機、炊飯器など)	●省エネ目標基準値以上の商品を開発 (コンデンス給湯暖房・暖房専用熱源機、ビルトインコンロ、テーブルコンロなど) ●待機時消費電力削減商品を開発 (コンデンス給湯暖房・暖房専用熱源機、炊飯器、ファンヒーターなど)	○	P17 P19 P42 P43
大気汚染防止	国内・国外向け給湯器の低NOx商品の充実	●国内向け低NOx暖房熱源機を開発 ●海外向け低NOx給湯機器を開発	○	P42
省資源・資源循環	●軽量化による省資源 ●製品アセスメントの継続実施による省資源化の推進および資源循環の容易性確保	●コンデンス給湯暖房熱源機を軽量化 ●製品アセスメントの実施(36機種)	○	P19 P45

E-プロキュアメント(調達)

グリーン調達	●グリーン商品開発 (E-調達基準書に準拠した材料の使用の推進) ●グリーン調達管理(化学物質管理)の強化	●E-調達基準書に基づいた材料の調達と使用 ●化学物質管理プロジェクトを新設し、化学物質管理体制(仕組み)を強化	○	P23 P24 P38
--------	--	---	---	-------------------

E-ファクトリー(工場)

地球温暖化防止	CO ₂ 総排出量1998年度比：98%以下	●CO ₂ 排出量8.4%削減(前年比) (1998年度比：94.4%)	○	P46 P48
廃棄物削減	●ゼロエミッションの維持・向上 (再資源化率：99.5%以上) ●各事業所毎の廃棄物削減計画に従い対策を推進	●ゼロエミッション 事業所平均再資源化率：99.9% ●廃棄物 事業所全体で893トン削減	○	P49
有害化学物質削減	各事業所毎の有害化学物質削減計画に従い対策を推進	事業所全体で10トン削減	▲	P49

E-マーケティング(販売)・E-サービス

高効率商品の販売拡大	高効率給湯器エコジョーズ販売目標台数15万台 [CO ₂ 排出量：2万t-CO ₂ /年削減]	高効率給湯器エコジョーズの販売台数 11.3万台[CO ₂ 排出量：1.6万t-CO ₂ /年削減]	▲	P19
環境配慮型商品情報の提供	●展示会での紹介・啓発 ●カタログ・チラシ・冊子の作成と配布	●各展示会で紹介・啓発を実施 ●カタログ・チラシ・冊子を作成し配布	○	P33

E-オフィス(職場)

グリーン購入	事務用品やOA機器のグリーン購入率 95%以上を維持する	グリーン購入率：98%	○	Webサイト
--------	---------------------------------	-------------	---	--------

E-マインド(従業員)・その他

環境情報開示	●2008年度版社会環境報告書の発行 ●ホームページでの環境情報開示	●2008年度版社会環境報告書発行(9月) ●ホームページに環境情報開示(10月)	○	P01 P02
環境教育・啓発	全社および各事業所の2008年度計画に従い、各種教育活動を推進する	新入社員教育、階層別教育、内部監査員養成教育／内部監査員教育／内部主任監査員教育などの実施	○	P25 P26 P38

2009年度環境行動計画

常に新たな姿勢で、新たな目標に向かって取り組んでいます。

2009年度は、社内各部門およびグループ会社と、さらに一歩進んだ環境活動を展開し、環境マネジメントシステムの展開と環境パフォーマンスの向上を目指します。

取り組み項目	基本行動計画	2009年度目標
環境マネジメントシステム	グループ全体での環境マネジメントシステムを構築し、連携した活動により環境パフォーマンスの向上を図る。	営業1支社・物流センター2部門のISO14001認証取得

E-プロダクト(商品)

地球温暖化防止	省エネ法目標基準値の早期達成と待機時および使用時の消費電力低減などに取り組み、省エネ・トップランナー商品の開発を継続的に行う。	- 省エネ目標基準値以上の商品の継続開発 コンデンス給湯器(海外向け給湯器)、テーブルコンロ、ビルトインコンロなど - 海外向けFF暖房機の開発
大気汚染防止	低NOx商品を開発する。	低NOx給湯器の開発継続
省資源・資源循環	商品や部品の小型・軽量化、長寿命化および再生材の利用促進などによる省資源化を図り、資源循環型商品の継続的开发に取り組む。	- 製品アセスメントの実施 - 軽量化コンデンス風呂給湯機の開発

E-プロキュアメント(調達)

グリーン調達	サプライヤーおよびグループ会社と連携し、環境に配慮した部品(省資源、省エネ、リサイクルなど)の調達を推進する。	- グリーン商品開発 (E-調達基準書に準拠した材料の使用の推進) - グリーン調達管理(化学物質管理)の強化
--------	---	--

E-ファクトリー(工場)

地球温暖化防止	2010年度までに、CO ₂ 総排出量を10%以上低減する。 [1998年度比]	CO ₂ 総排出量1998年度比：93%以下
廃棄物削減	ゼロエミッションの維持とともに、2010年度までに廃棄物の総排出量を15%以上削減する。 [2002年度比]	- ゼロエミッションの維持・向上 (再資源化率：99.5%以上) - 各事業所毎の廃棄物削減計画に従い対策を推進
有害化学物質削減	製造工程で使用する化学物質の管理体制の強化と有害化学物質の使用削減/廃止に向けて継続的に取り組む。 有害化学物質(PRTR対象物質)を2009年度までに50%以上削減する。 [2001年度比]	各事業所毎の有害化学物質削減計画に従い対策を推進

E-マーケティング(販売)・E-サービス

高効率商品の販売拡大	2010年度までに高効率給湯器25万台/年を販売する。 [CO ₂ 排出量：3.5万t-CO ₂ /年削減]	高効率給湯器エコジョーズ販売目標：16万台 [CO₂排出量：約2.3万t-CO₂/年削減]
環境配慮型商品情報の提供	展示会、カタログ・チラシ・冊子などにより、環境配慮型商品情報を提供する。	- 展示会での紹介・啓発 - カタログ・チラシ・冊子の作成と配布

E-オフィス(職場)

グリーン購入	事務用品やOA機器のグリーン購入率を95%以上とする。	事務用品やOA機器のグリーン購入率95%以上を維持
--------	-----------------------------	---------------------------

E-マインド(従業員)・その他

環境情報開示	社会環境報告書やホームページを利用して、環境活動や商品の環境情報などを開示する。	2009年度版社会環境報告書の発行 - ホームページでの環境情報開示
環境教育・啓発	従業員への環境教育・啓発活動を積極的に行い、環境意識の向上を継続的に図る。	全社および各事業所の2009年度計画に従い、各種教育活動を推進

環境会計

環境経営を推進しながら継続的な成長を目指すには、環境保全コストと環境効果を定量的に把握し、適切に経営資源を配分して効率的な取り組みを図る必要があります。

そのツールとして環境省が定めるガイドラインに準拠して「環境会計」を運用しています。

■ 環境保全コスト、環境保全効果および経済効果額についての環境会計を報告します。

[1] 集計範囲 リンナイ株式会社

[2] 集計期間 2008年4月1日～2009年3月31日

(単位：万円)

環境保全コストの分類		主な取り組み	費用
事業 エリア内 コスト	公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止など	6,244
	地球環境保全コスト	省エネルギーなど	19,040
	資源循環コスト	産業廃棄物のリサイクルおよび処理・処分	3,808
上・下流コスト		容器包装などの回収・リサイクルおよび減量・減容化	1,471
管理活動コスト		環境負荷の監視測定など	4,993
研究開発コスト		環境配慮型商品の開発・研究(省エネ、省資源、有害化学物質)	128,258
社会活動コスト		各種社会的取り組み、事業所内および周辺の美化・緑化活動など	211
合 計			164,025

環境保全コスト について

- 研究開発コストは、業界における環境に関する先端技術や先端的商品の開発コストおよび当社従来比で向上をはかった商品(当社基準による)に関するコストを計上しました。
- 環境目的以外も含むコスト(その他の目的を含む)は、当社基準により按分しました。
- 今回の算出において、減価償却費は除外しました。

環境保全効果	項目		内容	環境負荷削減量
	事業エリア内効果		省エネによる温室効果ガス削減	887t-CO2/年
	上・下流効果	商品の使用における 環境負荷低減	低NOx商品によるNOx削減	53t/年
			高効率商品によるCO2削減	99,309t-CO2/年

環境保全効果 について

- 省エネルギーや廃棄物削減による環境保全効果は、全体量の増減ではなく、活動による効果量と判断したもののみを計上しました。
- 環境負荷低減商品による環境保全効果は、市場における保全効果ではなく、当社の販売上の保全効果(前年との比較)のみ計上しました。(標準的な使用における年間効果量の推定による)

(単位：万円)

	項目	経済効果額
環境保全対策に伴う経済効果		
	省エネルギーおよび廃棄物削減による費用削減	3,728

経済効果 について

- 省エネルギーや廃棄物削減による経済効果は、全体額の増減ではなく、活動による経済効果と判断した効果額のみを計上しました。
- リスク回避や商品販売効果などのみなし効果は、基準があいまいなため対象外としました。
- 環境負荷低減商品などによる外部経済効果についても、明確な把握が困難であり対象外としました。

環境に配慮した商品開発



商品開発

環境配慮設計(省エネ・省資源など)を基本に、「安全・安心、快適・利便性」をキーワードとして快適な生活づくりに役立ち、満足していただける商品の開発・設計を進めています。

省エネへの取り組み

常に業界トップレベルの省エネルギー達成を目標に活動を推進しており、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の基準エネルギー消費効率の各基準値を達成しています。

お客様のご要望にお応えする省エネ商品

■「給湯暖房熱源機」「給湯器」 (FF方式・屋内壁掛型)

● 給湯暖房熱源機



省エネ

RUFH-V2403AFF2-6(B)
RUFH-V1613AFF2-6(B)

● 給湯器



省エネ

RUX-V2015SFFUA-E
RUX-V1615SFFUA-E

■ 低NOxバーナー

低NOxバーナーにより、すべての燃焼域においてNOx濃度60ppm以下を実現。



■ COセンサ(一酸化炭素濃度検出装置)付

万一、機器が不完全燃焼を起こした場合、COガス濃度を検出し、状況に応じて安全に機器を停止する機能(COセンサー)が付いています。

● 給湯暖房熱源機

区分名	Q (ガス給湯付暖房機器)	2008年度
基準エネルギー消費効率		83.0%
エネルギー消費効率		83.0%
達成率		100%

● 給湯器

区分名	C (ガス瞬間湯沸器)	2006年度
基準エネルギー消費効率		80.0%
エネルギー消費効率		81.5%
達成率		101%

■ ビルトインコンロ「マイトーン」

● 全口センサー搭載



省エネ



RS78W7K11R-W

■ コンロ

清掃のし易さを重視した省エネタイプの「高効率外炎バーナー」



■ グリル

省エネタイプの「高効率水なしワイド両面焼きグリル」



区分名	F (コンロ部 ガスグリル付コンロ)	2006年度
基準エネルギー消費効率		55.6%
エネルギー消費効率		55.6%
達成率		100%

区分名	L (グリル部 両面焼き 水なし)	2008年度
基準エネルギー消費効率		211Wh
エネルギー消費効率		208Wh
達成率		101%

環境に配慮した商品開発

利便性・快適性への取り組み

■ ファンヒーター

部屋の温度を微調整する「エコ運転機能」

「エコ運転機能」は、設定した室温になると「運転停止」と「再開」を自動的にコントロールする省エネ運転機能です。

換気サイン付

1時間連続運転すると換気を促す「音声メッセージ機能」が付いています。

8時間自動消火機能付

連続燃焼（運転）時間が8時間になると、運転を停止する機能が付いています。

暖房能力

11～15畳のお部屋に対応。



RC-H4003N

■ 見守り機能付ガス機器遠隔操作システム

携帯電話を利用して、風呂や床暖房といったガス機器の遠隔操作や外出先から自宅内の状況確認などができるシステムで、無駄を減らし省エネにも貢献します。



海外向け環境配慮型商品

■ スターリングエンジン

当社が開発したスターリングエンジンが組み込まれた家庭用コージェネレーション機器のモニター検証がオランダ・イギリス・ドイツ・イタリアで開始されました。

スターリングエンジンを組み込んだスターリングエンジン・コージェネレーション・システムは、輸送や送電によるロスがほとんどなく、発生した熱が給湯や暖房に使われるため、二酸化炭素の発生を従来の大規模化石燃料発電と比べて30%以上抑えることができ、発電時の総合効率は90%を超えています。



スターリングエンジン



機器の外観



機器の内部

■ ソーラー給湯システム

オーストラリアやニュージーランドでは、政府の環境対策の一環として省エネ商品の普及促進政策が進められています。太陽光を利用した省エネであるソーラー給湯システムを生産するリンナイオーストラリア(株)を中心に、リンナイグループ全体で省エネソーラー給湯システム商品の開発を進めています。



ソーラー（太陽光吸収パネル）



給湯器と貯湯タンク

環境に配慮した商品開発

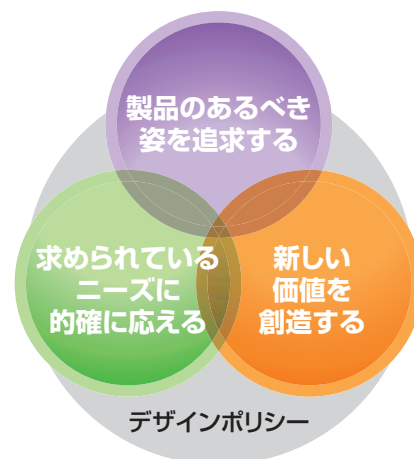
開発本部 厨房設計室
主務 ● 畑岡 完



競争力の源となるのは環境に配慮した商品を生み出す「商品開発力」だと思います。省エネとともに資源の有効活用および無駄の排除などを常に基本として、少しでも環境負荷を減らす「環境に配慮した商品開発」を継続して進めたいと思っています。

商品のデザイン

お客様からの要求の多様性を理解し、一人ひとりの人間性を尊重した生活づくりに寄与し、快適に使用できるデザイン(商品)の提案(開発)を進めています。



グッドデザイン賞受賞

2008年10月、財団法人日本産業デザイン振興会より、省エネ・省資源など環境に配慮した商品「7品目8機種」が2008年度グッドデザイン賞を受賞しました。



グッドデザイン賞の受賞

開発本部 デザイン室
主査 ● 荒木 洋一

デザイン室メンバー全員が協力し、グッドデザインアワードに挑戦した結果、ビルトインコンロ5機種、食器洗い乾燥機1機種、海外向けドロップインコンロ1機種、ファンヒーター1機種、計8機種がグッドデザイン賞を受賞することができました。一度に7品目8機種が受賞したことは過去にない記録です。今後も、デザイナー一同、より魅力ある商品を提案できるよう業務に励みたいと思っています。



※グッドデザイン

グッドデザイン賞(Gマーク)は、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創立された「グッドデザイン商品選定制度」を継承し、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度で、世界でも有数の歴史と実施規模を誇るデザイン賞です。生活と産業のクオリティの向上に貢献するデザインを身の回りの様々な分野から見出し、「優れたデザイン」を選ぶ活動を半世紀以上も展開しています。

環境に配慮した商品開発

日本マニュアルコンテスト部門最優秀賞受賞

テクニカルコミュニケーター協会主催の日本マニュアルコンテスト2008において、省エネなど環境に配慮したビルトインコンロ「デリシアユーディア」の取扱説明書が一般ユーザー向けの操作マニュアル部門で最優秀賞を受賞しました。



デリシア「ユーディア」



※日本マニュアルコンテスト

マニュアル制作技術の向上とマニュアル品質向上を通じて、ユーザーにわかりやすいマニュアルを提供するとともに、業界や制作者の社会的認知向上を目指すことを目的として開催されています。

家電リサイクル法への取り組み

家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)の改正により、平成21年4月から新たに「衣類乾燥機」などが追加され、当社は「エアコン」と「衣類乾燥機」の2品目が対象となりました。

●対象品目と基準値

品目	再商品化率の法定基準値	
	20年度	21年度以降
ユニット形エアコンディショナー	60%	70%
衣類乾燥機	—	65%



ユニット形
エアコンディショナー



衣類乾燥機

●平成20年度実績

平成20年4月1日～平成21年3月31日

●ユニット形エアコンディショナー

指定引取場所での引取台数	3,301台
再商品化等処理台数	3,282台
再商品化処理重量	135.5トン
再商品化重量	124.5トン
再商品化率	91%

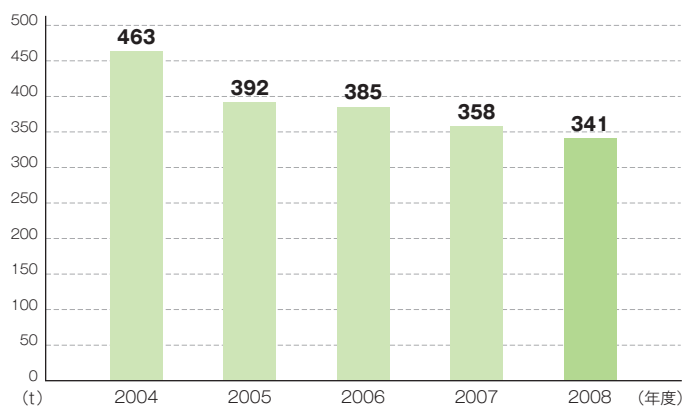
※当社の「浴室テレビ」は建築物に組み込むことができるように設計したタイプです。政令改正で品目追加されました「液晶式テレビジョン受信機」の除外品に該当します。

製品梱包への取り組み

■梱包材による廃棄物発生量の抑制

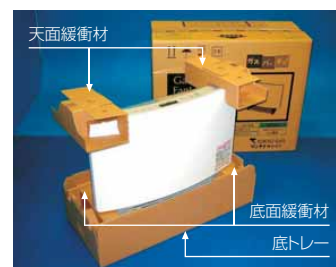
廃棄時などに問題となる発泡スチロールの使用削減のために、「ダンボール材」のみを使用した梱包の他に、「パルプモールド」を使用した梱包の採用を展開しています。また、梱包材の有効利用による減量化・減容化も併せて進めています。さらに、梱包材の再使用を目的としたリターナブル梱包の採用拡大を図っています。

●発泡スチロールの使用量推移



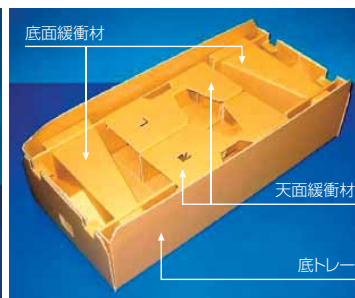
■2008日本パッケージングコンテスト 電気・機器包装部門賞受賞 「ガスファンヒーター」

(社)日本包装技術協会主催の日本パッケージングコンテストにおいて、ガスファンヒーターの包装材が電気・機器包装部門賞を受賞しました。入賞作品は優秀の証として「GPマーク」の使用が許されています。



【受賞理由】

天面緩衝材と底面緩衝材を底トレー内に収納するコンパクト化により、包装材の輸送効率が従来タイプより30%向上しました。また、材料使用量も5%減少し、保管スペースも20%減となりました。



環境に配慮したモノづくり

モノづくりにおける環境影響

Webで詳しく

資源・エネルギー（電気・ガス・原材料・油類 ……）

投入

調達（原材料・部品）

温暖化、大気汚染、オゾン層、水質汚濁、土壌汚染、騒音・臭気



物流

製造（商品の製造）

温暖化、大気汚染、オゾン層、水質汚濁、土壌汚染、騒音・臭気



INPUT

水

井戸水

8万m³

上水

24万m³

エネルギー

電力

3,956万kwh

ガス（都市ガス13A）

328万m³

ガス（LPガス）

1,630t

その他燃料（原油換算）

910kl

リンナイ4工場と国内グループ製造会社7社



OUTPUT

水系への排出

21万m³

大気への排出

CO₂
29,239t-CO₂

NO_x
24t

廃棄物の排出

15,121t

お客様の使用（使用）

温暖化、大気汚染



物流

リサイクル（処理）

温暖化、大気汚染、オゾン層、水質汚濁、土壌汚染、騒音・臭気



物流

廃棄（埋立）

大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音・臭気

環境に配慮したモノづくり

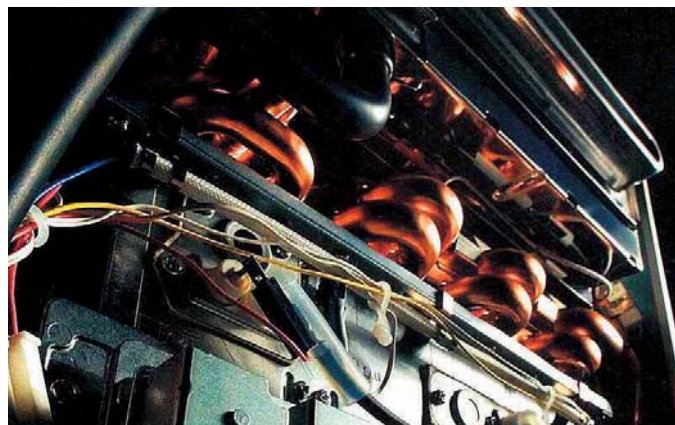
環境に配慮した加工技術への取り組み

■ 技術の革新

生活や社会を豊かにする技術、未来を切り拓く先端技術や環境配慮技術、製造現場での省エネ・省資源、廃棄物の再資源化などに取り組み、環境負荷を低減する技術革新で社会に貢献することを目指しています。

■ モノづくりの技術・技能の伝承

商品の「品質・安全・環境」を支えるのは、確かな知識・技術とそれらを活かし高めていく従業員の技能です。卓越した知識と技能を有する従業員の育成のための技能訓練の実践と伝承の取り組みを進めています。2010年春には大口工場・技術センター敷地内に「モノづくりの技術・技能の伝承の場」とする「モノづくりセンター」が完成する予定です。



環境に配慮したモノづくり



生産技術部 設備工機課
課長 ● 服部 暁生

環境負荷を低減する活動は商品開発だけでなく、その商品を作る製造過程においても同様です。加工工法の変更や機構に工夫を凝らし、省エネルギーで廃棄物を出さない、環境に優しい生産設備の開発に日々挑戦しています。

■ 塗装部門のモノづくり

給湯機器を生産する瀬戸工場において、商品の耐食性向上と有機溶剤の使用量削減および水の使用量削減などを図るため、電着塗装ラインを撤去し粉体塗装ラインを導入するとともに、前処理設備なども更新し、環境負荷低減に対する取り組みを積極的に推進しています。



● 粉体塗装ラインと前処理設備などの更新による効果

① 有害化学物質削減量	20t/年
② 廃棄物排出量削減	15t/年
③ 水使用量削減	2,200m ³ /年
④ エネルギー使用量削減によるCO ₂ 排出量削減効果	436t-CO ₂ /年



瀬戸工場

主な改善事項

焼付乾燥炉

焼付乾燥炉を既存の熱風循環炉（対流過熱方式）から近赤外線ランプ炉（赤外線式）にし、エネルギーの使用量を削減しました。



導入前



導入後

地球温暖化防止の取り組み

■ チーム・マイナス6%

政府が国民一人ひとりに温暖化防止を呼びかける“チーム・マイナス6%”の趣旨に賛同し、リンナイグループを挙げてこの運動にいち早く参加しています。服装を工夫しての冷暖房時の省エネ「クールビズ」「ウォームビズ」はもちろん、こまめなパソコン電源OFFや昼休みの消灯の徹底など、日々の事業活動の中で少しでも温暖化防止につながる取り組みの実施と、情報提供などを推進しています。

■ ブラックイルミネーション2008(ライトダウン)

地球温暖化防止のための「全国一斉消灯キャンペーン」に参加しました。全国20カ所の拠点で6月21日・7月7日の2日間に限定せず、6月21日～7月7日の期間、ネオン・広告灯の点灯時間を短縮し、ブラックイルミネーションを継続実施しました。



リンナイ本社

- ブラックイルミネーションの実施によるCO₂排出量削減効果

0.6t-CO₂/年

■ 物流への取り組み

2006年4月に施行された改正省エネ法で、当社は「荷主」として、物流におけるエネルギー使用量の把握、合理化計画の策定と対応が求められています。

調達・商品などの物流に関わるエネルギー使用状況を適切に管理するとともに、物流業者様と連携した改善活動でエネルギー使用量削減を進めています。

- 2008年度の物流改善によるCO₂排出量削減効果

1,187t-CO₂/年

省エネ・省資源改善事例

生産部門 エンジンコンプレッサーの導入廃止

インバーターコンプレッサーの有効活用化により、夏季の電力使用量増加対策として導入していたエンジンコンプレッサー(燃料:A重油)の使用を廃止しました。この廃止により騒音の低減にも効果がありました。(旭工場)



変更前：エンジンコンプレッサー



変更後：インバーターコンプレッサー

- 燃料変更：A重油→電気
- CO₂排出量削減効果

19.4t-CO₂/年

オフィス部門 自動運転によるエネルギーの節約

空調機(GHP)とロスナイ換気の電気回路を変更し、空調機はタイマー、ロスナイ換気はCO₂センサーを新設し労働安全衛生法で定めるCO₂濃度基準の80%以下を保つ自動運転に設定して、エネルギーの使用量削減を図りました。(開発本部)



CO₂センサー

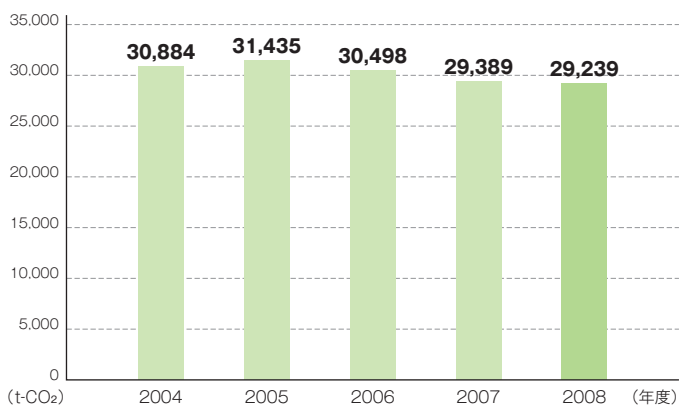
空調機(GHP)SW

- CO₂排出量削減効果

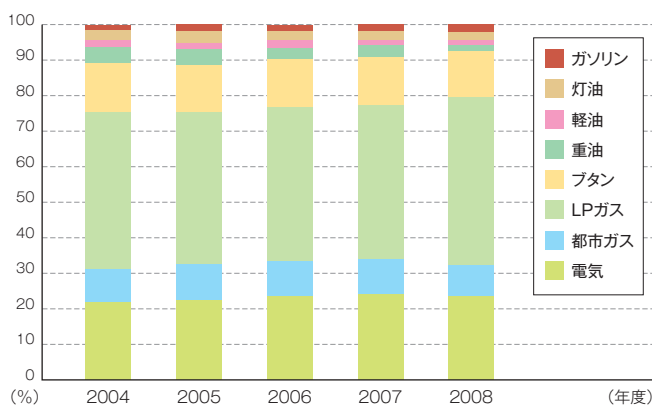
3.9t-CO₂/年

リンナイ4工場と国内グループ製造7社

● CO₂排出量推移



● エネルギー別使用量比率推移(原油換算)



環境に配慮したモノづくり

廃棄物への取り組み

■ ゼロエミッション

ゼロエミッションの維持と廃棄物発生量の削減に継続して取り組んでいます。2008年度の廃棄物発生量は前年比90.8%となりました。

※ゼロエミッションの定義
再資源化率99.5%以上、最終直接埋立委託率0.5%未満。

廃棄物の発生抑制活動

● 廃棄物を減らす活動

- ごみを買わない活動
- 購入先に戻す活動
- 再資源化する活動
- 廃棄物を出さない活動
- 再使用する活動

● 経済的に処理する活動

- 減容化
- 廃棄物の有価物化
- 処理費用の単価低減
- 有価物の価値を上げる

質の向上対応事例

● 廃プラの中からPP(ポリプロピレン)を分別回収

燃料としてサーマルリサイクルしている廃プラの中からPPを分別回収し、再生材原料として利用するマテリアルリサイクル化を行いました。(瀬戸工場)



化学物質への取り組み

■ 有害化学物質の削減／廃止

生産工程で使用する有害化学物質の削減／廃止を推進しています。使用している化学物質を「廃止」「削減」「管理」に分類し、対象となる化学物質に対し、対策を実施して成果を上げています。(2001年度比44%削減)

今後も、加工設備の改善、使用する材料の見直しなど、有害化学物質の使用量削減に向けた取り組みを行っていきます。

■ PCB廃棄物の早期処理

絶縁油などに使用されたPCBは、「ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正な処理に関する特別処理法」により、保管の強化と2016年7月までに処理することが義務付けられています。2009年3月、PCB廃棄物処理施設(日本環境安全事業(株)豊田事業所)で、当社が保管・管理していましたPCB含有高圧コンデンサーの無害化処理が完了しました。また、グループ会社のアール・ティ・エンジニアリング(株)も同じく処理を完了しています。



保管事業所からPCB処理施設への移送作業風景

汚染防止への取り組み

■ 環境重点設備点検

環境への影響が懸念される設備を指定し、年1回、これらを重点的に点検する環境重点設備点検を実施しています。設備の個別点検、計測器の動作確認、緊急時のシミュレーションなどを実施して、環境に影響する重大事故の発生を未然に防止できるように努めています。



■ 緊急事態への対応訓練(グループ)

リンナイグループの各事業所では、想定される緊急事態への対応手順を整備し、手順の有効性確認のための対応訓練を計画的に実施しています。



旭工場



愛知工場

アールビー・コントロールズ(株)

法規制遵守の状況

■ 自主基準による管理

法規制の遵守はもとより、さらに高い自主基準値を設定するとともに、日々の監視、定期的な測定、環境監査などを実施し、大気や水系への有害な化学物質などの排出を削減しています。設備の維持管理を強化し、自主基準値を超える可能性が判明した場合には、設備対策などを事前に実施することで、自主基準値を超えることがないよう管理の徹底を図っています。

■ 法規則遵守結果

2008年度は、公害防止関連法など環境に関係する法令違反はありませんでした。

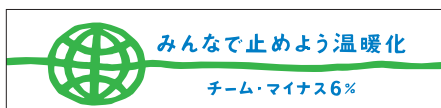
● 主な関連法

大気汚染	大気汚染防止法
水質汚濁	水質汚濁防止法、下水道法
地盤沈下	工業用水法
騒音・悪臭	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法
危険有害物質	毒物および劇物取締法
従業員の安全	労働安全衛生法(特化則、有機則) 消防法(危険物関係)
廃棄物	廃棄物の処理および清掃に関する法律
生態系	PRTR法、PCB廃棄物特別措置法

環境活動のあゆみ

1993年	3月 12月	● 「環境保全行動プラン」策定、環境委員会発足 ● 第4回省エネバンガード21受賞(プラスト式強熱グリラー RGM-4・6・8)
1994年	7月	● 低NOxバーナー搭載給湯器発売(NOx60ppm以下)
1996年	3月	● 第1回エコデザイン賞／東京ガス・大阪ガス・東邦ガス主催 優秀賞(給湯器、ファンヒーター、小型湯沸器)
1997年	3月 6月 10月 12月	● 第2回エコデザイン賞 特別賞(テーブルコンロ) ● 吸収式ガスエアコン(ノンフロン)発売 ● ISO14001大口サイト認証取得(大口工場・生産技術部・開発本部) ● 第8回省エネバンガード21受賞(テーブルレンジRSBN-096)
1998年	4月 9月 10月	● 第3回エコデザイン賞 優秀賞(ガス衣類乾燥機) 特別賞(小型湯沸器、吸収式ガスエアコン) ● 空気清浄機付ファンヒーター発売(本格空清……集じん・脱臭機能) ● ユッコVシリーズ発売(梱包スチロール廃止・待機時消費電力削減・低NOx)
1999年	4月 7月 9月 10月	● 大口工場(改正省エネ法適用工場) 第2種エネルギー管理指定工場登録 ● 環境部設置 ● エコマックスバーナー・エコバーナー搭載コンロ発売 ● コンデンス給湯器発売(熱効率95%・NOx30ppm以下)
2000年	2月 5月 8月 12月	● 第10回省エネ大賞 通商産業大臣賞受賞(コンデンス給湯器) ● リンナイ環境行動指針策定 ● 環境報告書初版発行 ● ISO14001瀬戸工場・環境部認証取得
2001年	1月 6月	● 中日産業技術賞 中日新聞社賞受賞(コンデンス給湯器) ● 技術大賞受賞／(社)日本ガス協会主催(コンデンス給湯器)
2003年	6月 10月 11月	● 技術賞受賞／(社)日本ガス協会(ガラストップガスコンロの開発) ● グッドパッケージ賞 電気・機器包装部門賞受賞 2003日本パッケージングコンテスト(75cm幅ガラストップビルトインコンロ) ● ISO14001愛知工場・旭工場・品質保証部認証取得
2004年	10月	● ロジスティクス賞受賞 2004日本パッケージングコンテスト(浴室暖房乾燥機)
2005年	6月 9月	● 技術大賞受賞／(社)日本ガス協会(潜熱回収型高効率給湯暖房機の開発) ● 地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」に参加
2006年	10月	● 電気・機器包装部門賞受賞 2006日本パッケージングコンテスト(ガスファンヒーター)
2008年	9月 10月 12月	● アメリカでガス瞬間式給湯器がASE(省エネ推進機構)の 「スーパー・ノバ・スター・アワード(エネルギー効率大賞)」を受賞。 ● 電気・機器包装部門賞受賞 2008日本パッケージングコンテスト(ガスファンヒーター) ● ISO14001本社認証取得
2009年	2月	● コンデンス給湯器(エコジョーズ)「RVD-Eシリーズ」発売

リンナイ株式会社



リンナイとグループ会社は「チーム・マイナス6%」に参加しています。



VOCとは揮発性有機化合物であり、石油系溶剤に替わり大豆油やアミノ油等の植物油のみで製造されたインキはVOCを含有しません。また、従来の石油系溶剤から製造されたインキよりも生分解性に優れます。



この報告書は、有害な廃液が出ない“水なし方式”で印刷しています。

2009.08

